

一般社団法人 九州経済連合会

第 62 回定時総会 資料

《 決議事項 》

第 1 号議案 2021 年度 収支決算 (案)

第 2 号議案 理事、監事 選任 (案)

《 報告事項 》

報告事項 1 2021 年度 事業報告

報告事項 2 2022 年度 事業計画 及び 収支予算

第 1 号議案

2021 年度 収支決算（案）

2021年度 収支決算（案）

財 務 諸 表

（2021年4月1日～2022年3月31日）

1. 貸借対照表
2. 正味財産増減計算書
3. 財産目録
4. 財務諸表に対する注記
5. 収支計算書

一般社団法人 九州経済連合会

1. 貸借対照表

2022年3月31日現在

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I. 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	96,833,049	143,639,793	△ 46,806,744
立替金	9,018,966	7,671,173	1,347,793
未収金	603,973	11,000	592,973
流動資産合計	106,455,988	151,321,966	△ 44,865,978
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
基本財産合計	0	0	0
(2) 特定資産			
退職給付引当預金	151,967,000	143,867,000	8,100,000
運営準備引当預金	162,500,000	82,500,000	80,000,000
周年事業引当預金	23,000,000	23,000,000	0
減価償却引当預金	10,510,299	9,605,010	905,289
特定資産合計	347,977,299	258,972,010	89,005,289
(3) その他の固定資産			
備品什器	4,343,471	4,723,730	△ 380,259
入居保証金	10,306,728	10,306,728	0
その他の固定資産合計	14,650,199	15,030,458	△ 380,259
固定資産合計	362,627,498	274,002,468	88,625,030
資産合計	469,083,486	425,324,434	43,759,052
II. 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	698,000	297,286	400,714
前受金	300,000	0	300,000
預り金	774,440	1,651,367	△ 876,927
流動負債合計	1,772,440	1,948,653	△ 176,213
2. 固定負債			
退職給付引当金	151,967,000	143,867,000	8,100,000
固定負債合計	151,967,000	143,867,000	8,100,000
負債合計	153,739,440	145,815,653	7,923,787
III. 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	0	0	0
2. 一般正味財産			
一般正味財産合計	315,344,046	279,508,781	35,835,265
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(196,010,299)	(115,105,010)	(80,905,289)
正味財産合計	315,344,046	279,508,781	35,835,265
負債及び正味財産合計	469,083,486	425,324,434	43,759,052

2. 正味財産増減計算書

2021年4月1日から2022年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I. 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
①特定資産運用益			
特定資産受取利息	270,634	263,843	6,791
②受取入金			
受取入金	1,200,000	1,400,000	△ 200,000
③受取会費			
受取会費	294,682,500	287,150,000	7,532,500
④雑収益			
雑収益	1,383,228	1,579,006	△ 195,778
経常収益計	297,536,362	290,392,849	7,143,513
(2) 経常費用			
①事業費			
給料手当	89,267,314	88,415,780	851,534
総会役員会費	5,547,968	3,222,824	2,325,144
会員懇談会費	6,341,186	1,088,510	5,252,676
委員会費	25,556,789	25,304,224	252,565
調査費	9,591,578	862,932	8,728,646
刊行費	9,814,828	10,881,831	△ 1,067,003
旅費交通費	8,519,230	8,586,663	△ 67,433
通信費	2,009,755	1,835,516	174,239
図書資料費	497,002	484,746	12,256
加盟団体費	2,460,400	2,305,400	155,000
特別事業費	532,262	1,809,537	△ 1,277,275
研修費	400,000	207,300	192,700
交際費	430,927	265,139	165,788
印刷費	3,114,474	2,368,395	746,079
消耗品費	338,939	129,323	209,616
諸税	161,607	165,559	△ 3,952
雑費	58,470	183,400	△ 124,930
②管理費			
役員報酬	22,015,000	22,015,000	0
退職給付費	0	24,935,000	△ 24,935,000
福利厚生費	21,625,925	21,522,596	103,329
家賃	35,870,515	35,637,182	233,333
備品費	7,794,361	7,916,588	△ 122,227
修繕費	747,278	795,949	△ 48,671
減価償却費	905,289	800,283	105,006
経常費用計	253,601,097	261,739,677	△ 8,138,580
当期経常増減額	43,935,265	28,653,172	15,282,093

2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
退職給付引当金取崩	0	22,935,000	△ 22,935,000
経常外収益計	0	22,935,000	△ 22,935,000
(2) 経常外費用			
退職給付引当金繰入	8,100,000	11,410,000	△ 3,310,000
経常外費用計	8,100,000	11,410,000	△ 3,310,000
当期経常外増減額	△ 8,100,000	11,525,000	△ 19,625,000
当期一般正味財産増減額	35,835,265	40,178,172	△ 4,342,907
一般正味財産期首残高	279,508,781	239,330,609	40,178,172
一般正味財産期末残高	315,344,046	279,508,781	35,835,265
II. 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III. 正味財産期末残高	315,344,046	279,508,781	35,835,265

3. 財 産 目 録

2022年3月31日現在

(単位：円)

	金	額	
I. 資産の部			
1. 流動資産			
現金			
現金手許有高	443,599		
当座預金			
福岡銀行本店営業部他	84,364,850		
普通預金			
宮崎銀行福岡支店他	12,024,600		
立替金			
九州の食輸出協議会他	9,018,966		
未収金			
九州PRセンターinハノイブース使用料負担金他	603,973		
流動資産合計		106,455,988	
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
基本財産合計	0		
(2) 特定資産			
退職給付引当預金			
福岡銀行本店営業部定期預金他	151,967,000		
運営準備引当預金			
福岡銀行本店営業部定期預金他	162,500,000		
周年事業引当預金			
福岡銀行本店営業部定期預金	23,000,000		
減価償却引当預金			
福岡銀行本店営業部定期預金他	10,510,299		
特定資産合計	347,977,299		
(3) その他固定資産			
備品什器			
応接室内内装工事、LAN設備他	4,343,471		
入居保証金			
電気ビル共創館入居保証金	10,306,728		
その他固定資産合計	14,650,199		
固定資産合計		362,627,498	
資産合計			469,083,486
II. 負債の部			
1. 流動負債			
未払金			
関門地域活性化に関する委託調査費他	698,000		
前受金			
月報広告掲載料	300,000		
預り金			
3月分給与における源泉住民税他	774,440		
流動負債合計		1,772,440	
2. 固定負債			
退職給付引当金	151,967,000		
固定負債合計		151,967,000	
負債合計			153,739,440
正味財産合計			315,344,046

4. 財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

- (1) 有価証券の評価基準及び評価方法
満期保有目的の債券は、償却原価法(定額法)を採用している。
- (2) 固定資産の減価償却の方法
固定資産(備品什器)は、定額法による減価償却を実施している。
- (3) 引当金の計上基準
引当金の計上基準については、それぞれ以下の金額を計上している。
・退職給付引当金……役員並びに職員の期末自己都合要支給額の100%
- (4) リース取引の処理方法
・ファイナンス・リース取引
リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっている。
- (5) 消費税等の会計処理
消費税は税込み処理を選択している。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
基本金積立金	0	0	0	0
小 計	0	0	0	0
特定資産				
退職給付引当預金	143,867,000	8,100,000	0	151,967,000
運営準備引当預金	82,500,000	80,000,000	0	162,500,000
周年事業引当預金	23,000,000	0		23,000,000
減価償却引当預金	9,605,010	905,289		10,510,299
小 計	258,972,010	89,005,289	0	347,977,299
合 計	258,972,010	89,005,289	0	347,977,299

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に対応す る額)
特定資産				
退職給付引当預金	151,967,000	0	0	151,967,000
運営準備引当預金	162,500,000	0	162,500,000	0
周年事業引当預金	23,000,000	0	23,000,000	0
減価償却引当預金	10,510,299	0	10,510,299	0
小 計	347,977,299	0	196,010,299	151,967,000
合 計	347,977,299	0	196,010,299	151,967,000

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
備品什器			
備品什器	14,853,770	10,510,299	4,343,471
合 計	14,853,770	10,510,299	4,343,471

5. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

科 目	帳簿価額	時 価	評価損益
モルガン・S 株価指数連動債	50,000,000	48,055,000	△ 1,945,000
福岡県R3年度第3回公募公債	30,000,000	29,558,400	△ 441,600
合 計	50,000,000	48,055,000	△ 2,386,600

5. 収 支 計 算 書

2021年4月1日から2022年3月31日まで

(単位：円)

科 目	予 算 額	決 算 額	差 異	備 考
I. 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
特定資産運用収入				
特定資産利息収入	250,000	270,634	△ 20,634	
入会金収入				
入会金収入	1,500,000	1,200,000	300,000	入会目標30社、実績24社
会費収入				
会費収入	287,300,000	294,682,500	△ 7,382,500	
雑収入				
受取利息収入	10,000	148	9,852	
その他収入	1,350,000	1,383,080	△ 33,080	
事業活動収入計(A)	290,410,000	297,536,362	△ 7,126,362	
2. 事業活動支出				
事業費支出				
給料手当支出	88,900,000	89,267,314	△ 367,314	
総会役員会費支出	6,400,000	5,547,968	852,032	
会員懇談会費支出	9,300,000	6,341,186	2,958,814	経団連との懇談会(2回→1回)
委員会費支出	44,500,000	25,556,789	18,943,211	会議の中止、オンライン開催
調査費支出	10,440,000	9,591,578	848,422	
刊行費支出	11,650,000	9,814,828	1,835,172	会員名簿→web掲載
旅費交通費支出	10,500,000	8,519,230	1,980,770	出張費等の経費削減(Web活用)
通信費支出	2,500,000	2,009,755	490,245	
図書資料費支出	500,000	497,002	2,998	
加盟団体費支出	2,560,000	2,460,400	99,600	
特別事業費支出	2,100,000	532,262	1,567,738	記念誌、ビジョン冊子(増刷)発行せず
研修費支出	600,000	400,000	200,000	
交際費支出	600,000	430,927	169,073	
印刷費支出	3,500,000	3,114,474	385,526	
消耗品費支出	1,000,000	338,939	661,061	
諸税支出	300,000	161,607	138,393	
雑支出	300,000	58,470	241,530	
事業費支出計(B)	195,650,000	164,642,729	31,007,271	
管理費支出				
役員報酬支出	22,015,000	22,015,000	0	
福利厚生費支出	22,000,000	21,625,925	374,075	
家賃支出	35,855,000	35,870,515	△ 15,515	
備品費支出	8,000,000	7,794,361	205,639	
修繕費支出	1,090,000	747,278	342,722	
管理費支出計(C)	88,960,000	88,053,079	906,921	
事業活動支出計(D)=(B)+(C)	284,610,000	252,695,808	31,914,192	
事業活動収支差額(E)=(A)-(D)	5,800,000	44,840,554	△ 39,040,554	

(単位：円)

科 目	予 算 額	決 算 額	差 異	備 考
II. 投資活動収支の部				
1. 投資活動収入				
特定資産取崩収入				
周年事業引当預金取崩収入	4,000,000	0	4,000,000	記念式典延期
投資活動収入計(F)	4,000,000	0	4,000,000	
2. 投資活動支出				
特定資産取得支出				
運営準備引当預金取得支出	0	80,000,000	△ 80,000,000	運営準備引当預金へ繰入れ
退職給付引当預金取得支出	9,000,000	8,100,000	900,000	
減価償却引当預金取得支出	800,000	905,289	△ 105,289	
什器備品取得支出	0	525,030	△ 525,030	
投資活動支出計(G)	9,800,000	89,530,319	△ 79,730,319	
投資活動収支差額(H) = (F)-(G)	△ 5,800,000	△ 89,530,319	83,730,319	
III. 財務活動収支の部				
1. 財務活動収入				
借入金収入	0	0	0	
財務活動収入計(I)	0	0	0	
2. 財務活動支出				
借入金返済支出	0	0	0	
財務活動支出計(J)	0	0	0	
財務活動収支差額(K) = (I)-(J)	0	0	0	
IV. 予備費支出				
予備費支出(L)	0	0	0	
当期収支差額(M) = (E) + (H) + (K) - (L)	0	△ 44,689,765	44,689,765	
前期繰越収支差額(N)	149,373,313	149,373,313	0	
次期繰越収支差額(O) = (M) + (N)	149,373,313	104,683,548	44,689,765	

- (注) 1. 収支計算書は「公益法人会計における内部管理事項について」(平成17年3月23日公益法人等の指導監督等に関する関係省庁連絡会議幹事会申し合わせ)に示された3区分の様式により作成している。
2. 借入金限度額(該当なし)
3. 債務負担額(該当なし)

収支計算書に対する注記

1. 重要な会計方針

資金の範囲について・・・現金預金、仮払金、立替金、未収金、未払金、預り金、前受金を含める。

2. 次期繰越収支差額の内容は次のとおりである。(単位：円)

科 目	前期末残高	当期末残高
現金預金	143,639,793	96,833,049
立 替 金	7,671,173	9,018,966
未 収 金	11,000	603,973
合 計	151,321,966	106,455,988
未 払 金	297,286	698,000
前 受 金	0	300,000
預 り 金	1,651,367	774,440
合 計	1,948,653	1,772,440
次期繰越収支差額	149,373,313	104,683,548

監 査 報 告 書

私どもは、一般社団法人九州経済連合会の2021年4月1日から2022年3月31日までの2021年度における財産の状況および理事の業務執行の状況を監査しましたので、これについて次のとおり報告いたします。

財産の状況については、2021年度の財務諸表（貸借対照表、正味財産増減計算書および財産目録）、ならびに収支計算書等を慎重に検討し、また、理事の業務執行の状況について、理事会等に出席し、必要に応じ報告および説明を徴することにより、監査を行いました。


その結果、

- (1) 財産の状況に関し、2021年度の財務諸表は、すべての重要な点において適正に表示されているものと認めます。
- (2) 理事の業務執行に関し、不正の行為、または法令もしくは定款に違反する事実は認められません。

2022年 4月 20 日

一般社団法人 九州経済連合会

監 事

酒見俊夫 

監 事

齋藤武 

第 2 号議案

理事、監事 選任（案）

第2号議案

理事、監事 選任（案）

【理 事】

○退任理事（3名）

津 田 純 嗣 (つだ じゅんじ)	(株)安川電機	取締役
入 江 智 祐 (いりえ ともひろ)	(株)ブリヂストン	前九州生産部門長 兼久留米工場長
長 尾 成 美 (ながお なるみ)	(一社)九州経済連合会	専務理事

○新任理事（3名）

小笠原 浩 (おがさわら ひろし)	(株)安川電機	会長兼社長
佐々木 康 博 (ささき やすひろ)	(株)ブリヂストン	九州生産部門長 兼久留米工場長
堀 江 広 重 (ほりえ ひろしげ)	西日本鉄道(株)	顧問

【監 事】

○退任監事（1名）

齋 藤 武 (さいとう たけし)	(株)NTT ドコモ	執行役員九州支社長 (6月21日 執行役員九州支社長 退任予定)
------------------	------------	-------------------------------------

○新任監事（1名）

根 本 浩 二 (ねもと こうじ)	(株)NTT ドコモ	ネットワーク部長 (6月21日 執行役員九州支社長 就任予定)
-------------------	------------	------------------------------------

以 上

報告事項 1

2021 年度 事業報告

報告事項 1

2021 年度

事業報告

第 61 号

一般社団法人 九州経済連合会

目次

はじめに	2
I 主な取り組み	3
【戦略1】地域共創 with コロナ	
① コロナ対応	
【戦略2】ありたい姿に向けたチャレンジ	
② 産業イノベーション	
③ グリーン成長	
④ アジア活力	
⑤ 人を惹きつける（農業、観光）	
⑥ 共助社会	
【戦略3】みらいへの投資（基盤整備）	
⑦ 分散型・広域連携	
<2021年度主な事業のKPI>	
II 総会・役員会・他団体との活動など	10
総会・理事会・役員会など	
会員懇談会など	
九州地域戦略会議	
経済団体等との懇談	
III 委員会活動	14
資源エネルギー・環境委員会	
産業振興・デジタル推進委員会	
観光委員会	
農林水産委員会	
交通委員会	
国際委員会	
行財政委員会	
ダイバーシティ「幸せコミュニティ」推進委員会	
関門連携委員会	
地域委員会	
IV 関連団体活動	22
西日本経済協議会	
九州航空宇宙開発推進協議会	
九州DX推進コンソーシアム	
知的財産権研究会	
九州IR推進協議会	
九州国際医療機構	
九州の食輸出協議会	
東九州軸推進機構	
下関北九州道路建設促進協議会	
九州経済国際化推進機構	
福岡地域戦略推進協議会	
九州大学学術研究都市推進協議会	
ILCアジア-九州推進会議	
九州エネルギー問題懇話会	
九州・沖縄地方産業競争力協議会	
九州・沖縄文化力推進会議	
V 事務局の取り組み	29
VI 本会要望・意見等	30

はじめに

2021 年度は、コロナ禍の厳しい状況が続く中で、東京オリンピック・パラリンピックがわれわれに明るい希望をもたらし、ワクチン接種の加速による行動制限緩和への取り組みが始まるなど、日常生活の回復に向けて日本全体が動き出した一年であった。

本会では、4 月の創立 60 周年を機に、『九州将来ビジョン 2030』を公表し、「共生・共感・共創アイランド九州 ～成長と心の豊かさをともに」というコンセプトや、心の豊かさを成長に繋ぐ“幸せコミュニティ”づくりを未来のありたい姿として打ち出した。

未来を描き、未来を創るビジョンとするため、3 年ごとの中期計画と KPI を定め、2021 年度はその初年度として、【3 つの戦略】を活動方針の柱として事業活動に取り組んだ。

【戦略 1】地域共創 with コロナ

まずは落ち込んだ経済を早期に回復させることが重要であり、人の移動を活性化させるため、本会会員向けの行動指針（9 月）や九州地域戦略会議における官民共同宣言（10 月）などの積極的な発信や、委員会を中心に活動を継続することにより、過度に委縮してブレーキを踏み過ぎないように機運醸成を図った。

また、第一次産業生産者支援として、九州の酪農家を応援する情報発信や、マルシェへの出店による販売応援などを行った。

【戦略 2】ありたい姿実現に向けたチャレンジ

わが国全体で、DX・GX 推進やデジタル田園都市国家構想等、コロナ後の未来を切り拓く取り組みが進められていることを踏まえ、本会活動においても、イノベーションの活発化や地域創生に重点を置いた取り組みを加速させる必要がある。

具体的には、大学シーズへのギャップ資金拠出（5,280 万円）をはじめとするイノベーションエコシステム構築や、地方からデジタル実装を図る産学官金の推進組織「九州 DX 推進コンソーシアム」設立（11 月）など“産業イノベーション”事業、地域金融機関との連携による ESG 投融资方針の検討など“グリーン成長”事業、交流人口拡大へのツール・ド・九州の 2023 年第 1 回大会の開催準備や九州・長崎 IR 誘致など“アジア活力”事業、地域農業を地域企業で支える仕組みづくりを目指す三者連携協定の締結（2 月）など“人を惹きつける”事業、九州ジェンダーギャップ指数の公表（1 月）など“共助社会”事業について、着実に前進することができた。

【戦略 3】みらいへの投資（基盤整備）

成果が出るまでに期間を要する基盤整備については、新たなスマートモビリティ導入による持続可能な公共交通体系構築への実証実験（1 月）、デジタル技術活用による広域連携の新たな社会システム構築を目指す自立型広域経済圏モデル検討 WG の立上げなど、“分散型・広域連携”事業の新たなスタートをきった。

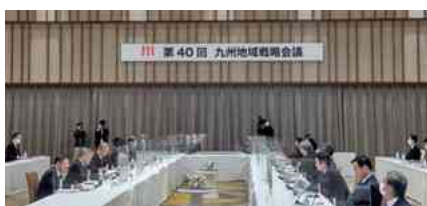
ウィズコロナの活動制限やウクライナ危機等の影響により、先行き不透明な状況下だが、九州から改革・イノベーションをいかに起こすか、会員の皆様と知恵を絞りながら、引き続き「九州から日本を動かす」モデルとなる先導的な取り組みを進めていきたい。

I 主な取り組み

【戦略1】地域共創 with コロナ

① コロナ対応

社会経済活動の再活性化



- ・接種証明等を活用し、経済活動活性化へ
「九経連会員向け行動指針」公表 (2021.9月)
- ・感染状況に応じた社会経済活動の再活性化へ
第40回九州地域戦略会議において、九州・山口9県知事と
経済4団体トップにより「九州創生元気づくり宣言」採択
(2021.10月)

第一次産業生産者支援



- ・九州の酪農家を応援
牛乳の消費が低迷し、“春休み”から“ゴールデンウィーク”にかけ
大量廃棄のおそれがあることから、九州で生産されるLL牛乳を
九経連の会報誌・HPにて紹介 (2022.3.21~4.10)
- ・福岡市天神で開催のマルシェに出店
会員企業が主催する「九州活性化プロジェクト」に、農林水産省
が支援する「農業女子」グループと共に出店し、
トマトの加工品やお米等を販売 (2021.10月)
- ・地産地消推進事業「九州食堂」の開催
会員企業の社員食堂を中心に地産地消特別メニューを提供
九州産食品をメインに使用し、期間中喫食数は1.5万食超
(2021.10~11月)

【戦略2】 ありたい姿に向けたチャレンジ

② 産業イノベーション

ベンチャー・エコシステム構築



- ・大学シーズ 24 件に、ギャップ資金 5,280 万円を配分
産学金・VC 等が連携して、大学シーズの実用化を支援する
「第 6 回九州・大学発ベンチャー振興会議」を開催
(2022.2 月)
- ・企業 x ベンチャー協業型ビジネスマッチング支援
「九州・山口ベンチャーマーケット」、「StartupGo!Go!」等の開催
(各 2021.10 月、11 月)
- ・九州・大学発ベンチャー・ビジネスプランコンテストの開催
九州全県の大学・高専から 22 校 54 チームが応募
長崎県立大学がグランプリ受賞（全国大会への出場権獲得）
(2021.12 月)
- ・経団連主催ピッチイベント「KIX+」（キックスプラス）に初参加
九州発ベンチャー 6 社と経団連企業 60 社との交流機会創出
(2022.1 月)

地域企業の DX 加速



- ・経営層を対象とした「九州デジタル経営塾」開講
6 団体主催による開講式・キックオフセミナー（2021.7 月）
九州各地で 1 泊 2 日のワークショップ・合宿形式で実施
(2021 年度：大分、鹿児島、宮崎)
- ・「九州 DX 推進コンソーシアム」発足
九経連、九州大学、福岡県、デロイトトーマツグループが、
デジタル人材育成や、デジタル技術活用による地域課題の解決と
新たな産業創造を、産学官金で推進することを目指し設立
(地域ごとに「都市 OS 活用」「脱炭素」「ヘルスケア」「企業 DX 支援」などの
テーマで実証事業を予定し、2022.4 月より本格始動)
(2021.11 月)

農業を変える（生産性向上と労働負荷の軽減）



- ・スマート農業技術の普及拡大
基調講演及び 17 の事例講演をオンライン配信にて開催
視聴者数：延べ 437 名
(2021.11.16~18)

戦略産業の育成・誘致

国際金融機能の誘致

③ グリーン成長

ESG 投資の環境整備

政府のエネルギー関連政策に関する要望



④ アジア活力

交流人口の拡大



海外展開プラットフォーム



- ・次世代リーディング産業の調査
オール九州の連携・サプライチェーン強化、次世代半導体等への重点志向の観点から中・長期計画を立案し、内容をレベルアップ
- ・航空宇宙産業の育成・振興（九州航空宇宙開発推進協議会）
創立 30 周年を契機に、第 3 次アクションプランを検討・立案
（航空分野）広域連携強化、グリーン・イノベーション関連事業創生等
（宇宙分野）データベース化、衛星データ利用に関するビジネスモデル等
- ・「国際金融勉強会」の開催
機運醸成を目的に会員企業の地方金融機関等へ情報提供
（全 4 回・TEAM FUKUOKA との共催）
- ・ESG 推進 WG を設置
九州の産業競争力の強化を図り、市場や投資家から評価されるサステナブルな地域づくりの推進を目指し設立（2021.10 月）
- ・主に以下の内容を要望（2021.4 月）
九州のグリーンエネルギーの強みを活かした地域活性化の推進
電源・需要の低炭素化・脱炭素化
イノベーションと投資環境の整備
- ・「ツール・ド・九州」2023 年第 1 回大会開催へ
国際レース認定を取得するため、関係機関と協議、調整実務面を担う運営事務局（一社）ツール・ド・九州を設立
- ・九州・長崎 I R（統合型リゾート）の誘致実現へ
2022 年 4 月末の区域整備計画書提出に向けた準備
- ・九州プロモーションセンター（KPC）in ハノイ
ベトナムとの交流事業をコロナ禍にあっても絶やすことのないよう、同センターのコンセプト「企業・人材・観光・食育」等のテーマに沿ったウェビナーをシリーズ化して開催（全 3 回）
- ・「環黄海経済・技術交流会議」の開催（2021.11 月、熊本）
東アジア・環黄海地域の経済圏域の発展と交流の深化を目指す経済交流プラットフォームとして第 19 回会合を開催
（九州・中国・韓国の企業等から「感染症対応型ビジネス分野」、「環境・エネルギー分野」、「地域間交流分野」の技術・取組を発表）

⑤ 人を惹きつける

農林水産業魅力づくり



観光・まちづくり



⑥ 共助社会

ダイバーシティ・インクルージョン

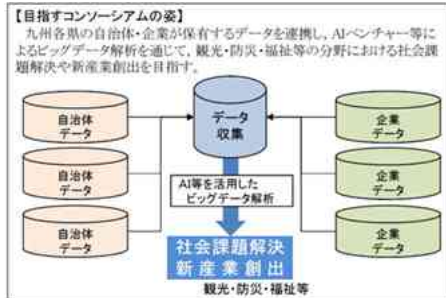


- ・地域農業を地域企業で支える仕組みづくり
九経連・全農福岡県本部・農林中央金庫とで、農業担い手不足の解消を柱に据えた「農業の活性化に関する三者連携協定」を締結（2022.2月）
（三者それぞれが持つリソースを持ち寄り活用することで、農業が抱える社会課題を解決し「魅力ある雇用の場」となる農業の実現を目指す）
- ・木造・木質化ビルの普及促進（国産材の国内利活用）
トップセールス及び「モクビル研究会」の組成を実施。営業ツール改善やターゲット領域明確化、SCM 全体最適化等を検討（WGを2回開催）
- ・九州の食輸出協議会を活用した輸出拡大
イオンマレーシア・カンボジアの現地5店舗で九州フェアを開催
成約：マレーシア29件、カンボジア33件（2021.10～11月）
台湾17社、イオンASEAN5か国の店舗を対象にWeb商談会を開催（2022.3月）
- ・地域活性化に向けた連携協定
福岡県うきは市×うきは福富古民家まちづくり協議会×九経連の3者にて、連携協定を締結（2022.2月）
（うきは市の地域活性化及び定住人口・関係人口・交流人口の増大のモデルづくりを通じて、九州全体の経済活性化と幸福度向上につなげる）
- ・ジェンダーギャップ、幸せ指標の策定
「九州ジェンダーギャップ指数(KGGI)」を公表（2022.1月）
「九州企業ジェンダーギャップ指数」の策定に着手
- ・幸せコミュニティ指標の策定
九州将来ビジョン2030に掲げたありたい姿「幸せコミュニティ」について、「成長エンジン」との両立を目指し、WGにて指標を検討（22年度総会にて公表予定）
- ・「KYUSHU NEXT 2021」開催
～われわれはどうやって九州を動かしていくのか～
多種多様な意見の集積を目的として、「共助による脱アンフェア」をテーマに、3つのプレゼンテーションについて参加者全員によるグループディスカッションを実施
〔セッション1〕女性活躍は「女性活躍推進法」ですすんだのか
〔セッション2〕社会の協力によるフェアなビジネス環境
〔セッション3〕九州スマートリージョン構想（仮称）
～オープンデータによる自治体の枠を超えた地域連携～

【戦略3】 未来への投資（基盤整備）

⑦ 分散型・広域連携

データ駆動型社会の基盤整備



- ・九州ビッグデータ活用研究会の開催
九州地域戦略会議の取り組み事項として、「九州 AI ビッグデータコンソーシアム」創設を目指し、官民合同チームにおいて、事例紹介、ビッグデータ活用に関する意見交換等を実施（全2回）
- ・大学院生・大学生向け実践インターンシップ
6大学の学生22名と、10社（14テーマ）をマッチング
学生の社会との接合の場を提供し、課題解決力や実践的スキルを向上させた
（2007年度から延べ237名育成、12大学、30社の企業と連携）
- ・社会人向けリカレント教育プログラムへの支援、データ利活用研修
（2022.3月）

交通インフラ整備



- ・きやま町モビリティサービスの実証実験
佐賀県基山町において、経済産業省と国土交通省が進める「スマートモビリティチャレンジ」の実証実験を実施し、貨客混載事業の可能性を検討
（2022.1月～）
（西鉄高速バスにて、基山町特産品を貨客混載方式で輸送し、天神にて販売）
- ・インフラネットワーク
西九州新幹線シンポジウム「新幹線を活かす地域づくり～オール九州からの視点と戦略～」を開催
（2021.12月）
（2022.9月の西九州新幹線開業に向けた機運醸成と、新幹線による地域活性化効果について情報発信）

新たな広域行政の枠組み整備

- ・自立型広域経済圏モデル検討WGの設置
広域連携やスマートシティにおける地域サービスのあり方、実現に向けた課題、今後の取り組みの方向性などについて意見交換し、「スマートリージョン」の概念を共有
（全7回）

2021年度 主な事業の KPI

	活 動	KPI	2021 年度目標	2021 年度実績
高い付加価値を生み出す 【産業】の創出	イノベーション・エコシステム構築	会員企業 x ベンチャーとのマッチング件数	10 件	11 件
		有望な大学シーズへのギャップ資金提供	8,400 万円	5,280 万円
		産学連携による人材育成先進事例の共有・展開	3 件	4 件
	データ活用型社会の実現に向けた基盤整備	九州 AI ビッグデータコンソーシアム創設への課題整理	提言策定	研究会を 2 回開催し、課題抽出
		経営層への DX 学びの場の提供	開設	九州デジタル経営塾の開設
	カーボンニュートラル実現に向けた環境整備	ESG 金融に関するアライアンス組成数	1 件	1 件
海外販路の共通化、海外展開ノウハウのプラットフォーム構築	九州と RCEP 参加国との貿易総額	5.8 兆円 (2019 年水準の回復)	6.9 兆円	
魅力・活力溢れる【地域】の創造	農林水産業 魅力づくり	地域農業を地域企業で支える仕組みづくりの立案	労働力支援スキーム作成	労働力支援スキーム作成済
		九経連木造ビル構造標準モデルによる企業トップセールス件数	トップセールス 15 社以上	トップセールス 7 社
		九州の食輸出協議会によるマッチング・商談成約件数 〔九州の港等からの一次産品・食品輸出額（2021 年 1～12 月）〕	成約件数 20 件以上 (1,400 億円)	成約件数 62 件 (1,223 億円)
	ダイバーシティ経営の推進	幸せコミュニティ指標の開発とロードマップ作成	指標の見極め	指標策定着手 来年 6 月公表に向け、検討
女性活躍の課題や阻害要因の体系的整理完了		ジェンダーギャップ指標の策定による課題の見える化	九州ジェンダーギャップ指数(KGGI) 開発・公表	
みらいへの投資	持続可能な地域交通ネットワーク構築	地域交通課題解決の事例創出	政府予算獲得による実証	実施
	分散型・広域連携促進	新たな広域行政の全体構想作成に向けた課題の洗い出し	WG 設置（九州の方向性整理）	全 7 回の WG 開催により、方向性、進め方を整理



【戦略1】地域共創withコロナ

①コロナ対応

- 最優先課題：経済活動の根幹である人・モノの交流活性化
(「コロナ禍での九経連行動指針」に類するメッセージや、国・自治体への要請を機動的に発信)

【戦略2】ありたい姿実現に向けたチャレンジ

高い付加価値を生み出す「産業」の創出

②産業イノベーション

★イノベーション・エコシステム構築

- ① スタートアップへの成長支援：大学シーズへのギャップ資金投入 【ギャップ資金7,200万円】
各地の支援機関・コーディネーターの連携強化策の策定
- ② 地域企業へのDX支援：経営者向け「九州デジタル経営塾」開催(4ヵ所)
デジタル化・IT活用支援の仕組みづくり※ 【支援モデル事業の実施】
※地域の金融機関やITベンダーのプラットフォーム

- 農業への企業参入やスマート化推進
- 次世代産業への構造転換策の策定、実施
- 九航協・第3次アクションプランの実行：参入支援、受注獲得
- 都市機能の充実や高度化を目指す構想の実現
(国際金融機能の九州全域への波及、政府スーパーシティ構想指定への活動等)

③グリーン成長

★需要側を含めた環境先進モデル構築

【九州タクソミー(仮称)策定】

- ① 九州ESG投融资方針の策定と、推進体制づくり(地域金融機関等との連携)
- ② 地域企業の脱炭素経営推進の具体策とりまとめ(新たな研究会設置)

- 再エネ産業化推進：プロジェクト誘致に向けた展示会出展等

④アジア活力

★新たな観光資源創出への挑戦

→ 目標：九州・長崎IRの区域認定 ※全国で最大3ヵ所

- ① ツール・ド・九州：2023年第1回大会成功に向けた業務遂行
- ② 九州・長崎IR：区域認定に向けた九州IR推進協議会による活動 【区域認定/10月】

- 各国政府・経済団体との連携促進 → 目標：貿易総額5.8兆円 ※九州-RCEP参加国
・「九州プロモーションセンター」起点の海外展開事例創出：ミッション派遣、現地商談会

魅力・活力溢れる「地域」の創造

⑤人を惹きつける

★農林水産業活性化共創モデルづくりへの挑戦

→ 目標：九州輸出額1,600億円

- ① 支援基盤づくり：外部知見を活用した生産者支援事業の推進 【支援プラットフォーム整備】
「地域農業を地域企業で支える仕組み」基点の取組推進 【具体事例創出】
- ② 支援基盤の強化：木造ビルトップセールス、「九州の食輸出協議会」等との協働(輸出促進)

★観光を軸にした地域プロデュース

- ・「街づくり事業」の遂行と成功事例の水平展開 【地方活性化連携協定(3地域)締結】

⑥共助社会

★心の豊かさを成長につなぐ「幸せコミュニティ」づくり

- ・ 幸せコミュニティ指標の策定と、指標向上へのロードマップ作成 【指標の見極め・関係者合意】
- ・ 地域企業への「九州企業ジェンダーギャップ指数」導入推進 【ギャップ指数導入企業300社】

【戦略3】みらいへの投資(基盤整備)

⑦分散型広域連携

★「九州スマートリージョン構想(仮称)」の具現化

- ① 広域データ連携：構想実現への理念・方針の策定 【九州スマートリージョンポリシー策定】
広域データ連携基盤の仕組みづくり 【パイロットプロジェクト立案】
県境・分野を越えたデータ利活用事例の共有(域内の官民データ拡充)
- ② 広域経済圏モデル(新たな広域行政)の課題・方向性整理 【目指す広域連携の姿の具体化】

- ICT人材育成、サイバーセキュリティ対策・啓発(継続実施)

★九州版MaaS構築と地域交通の最適化

- ① 九州版MaaS：最適手法を検討するための研究会の設置 【ランドデザイン策定】
- ② 地域交通の最適化：自治体と事業者とのマッチング支援、課題解決の事例創出

- 西九州新幹線/効果最大化への検証、空港活性化策の検討、関門連携施策の確立等

II 総会・役員会・他団体との取り組みなど

総会・理事会・役員会など

開催日	会合名	内容
総会		
2021/06/07	第 61 回定時総会 (福岡市)	<議事> 第 1 号議案：2020 年度収支決算(案) 第 2 号議案：理事、監事選任(案) 報告事項 1：2020 年度事業報告 報告事項 2：2021 年度事業計画及び収支予算 報告事項 3：「九州将来ビジョン 2030」について
2021/08/05	臨時総会 (書面開催)	<議事> 第 1 号議案：理事選任(案)
理事会		
2021/05/10	第 163 回理事会 (福岡市)	<議事> 第 1 号議案：理事、監事候補選任(案) 第 2 号議案：会長、副会長、専務理事、常務理事候補選任(案) 第 3 号議案：2020 年度事業報告(案) 第 4 号議案：2020 年度収支決算(案) 第 5 号議案：第 61 回定時総会の招集及び会議の目的事項(案) 報告事項①：「九州将来ビジョン 2030」の公表 報告事項②：今後の主要スケジュール
2021/06/07	第 164 回理事会 (福岡市)	<議事> 第 1 号議案：会長選任(案) 第 2 号議案：副会長選任(案) 第 3 号議案：専務理事、常務理事選任(案) 第 4 号議案：事務局長選任(案) 第 5 号議案：代表理事、業務執行理事選任(案) 第 6 号議案：審議員、諮問委員、顧問選任(案) その他報告：委員会及び委員長について
2021/07/15	第 165 回理事会 (みなし理事会)	<議事> 第 1 号議案：臨時総会の実施及び会議の目的事項
2021/08/05	第 166 回理事会 (みなし理事会)	<議事> 第 1 号議案：副会長選任(案)
2021/09/29	第 167 回理事会 (福岡市)	<議事> 第 1 号議案：諮問委員、顧問 選任(案)
2022/03/23	第 168 回理事会 (福岡市)	<議事> 第 1 号議案：諮問委員、顧問 特別顧問選任(案) 第 2 号議案：2022 年度事業計画(案) 第 3 号議案：2022 年度収支予算(案) 報告事項①：「幸せコミュニティ指標」の公表 報告事項②：今後の主要スケジュール
正副会長・委員長会議		
2022/02/01	正副会長・委員長会議 (福岡市)	<議事> 2022 年度事業計画【主要事業】(案)
役員選考委員会		
2022/05/10	役員選考委員会	<議事> 第 1 号議案：理事並びに監事候補選定 第 2 号議案：会長候補選定 第 3 号議案：副会長候補選定 第 4 号議案：専務理事並びに常務理事候補選定
顧問会		
2022/12/01	顧問会(東京)	<議事> 「九州将来ビジョン 2030」の実現に向けて
理事・審議員合同会議		
2021/09/29	理事・審議員合同会議 (福岡市)	<議事> ・2021 年度主な取り組み状況と課題 ～「九州将来ビジョン 2030」の実現に向けて～ ・九経連の会合等における今後の対応方針 ～あるべきコミュニケーションスタイルの再開に向けて～ <発表> 「高校生が考える九州の未来像」 九州のみらいを考える会 会長 富田 祥平 氏他

会員懇談会など

開催日	会合名	内容
九州経済懇談会(経団連との意見交換会)		
2021/04/20	九経連・経団連による意見交換会 (福岡市) *コロナ禍のため、双方役員のみ出席にて開催	<テーマ> 「with コロナにおける新たな成長の実現と力強い経済復興」 ①地域経済の活性化 ②DXとイノベーションの推進
2022/03/09	第 72 回九州経済懇談会 (福岡市)	<基本テーマ> 「変革の風を九州から～ローカルアドバンテージを活かして～」 <懇談テーマ> ①地域の強みを活かして、経済復興を先導 ②新たな成長により持続可能な地域へ
沖縄連携フォーラム		
2021/12/13	沖縄連携フォーラム (那覇市) ※沖縄県経済団体会議との共催	<テーマ> 共生・共感・共創社会に向けた九州・沖縄のチャレンジ ～企業経営のDX～ <報告 I> 本部報告「九州将来ビジョン 2030」 <報告 II> 「沖縄の DX の取り組みについて」 沖縄セルラー電話(株) 取締役営業本部長 國吉 博樹 氏 <講演 I> 「グッデイのデジタル経営への挑戦」 (株)グッデイ 代表取締役社長 柳瀬 隆志 氏 <講演 II> 「DX との向き合い方」 (株)グルーヴノーツ 代表取締役会長 佐々木久美子 氏
産学連携懇談会		
2021/04/27	産学連携懇談会 (福岡市)	<報告> ・「九州将来ビジョン 2030 概要」 九州経済連合会 会長 麻生泰氏 ・「九大の目指す姿(九大ビジョン 2030)」 九州大学 総長 石橋達朗氏 <事例報告> ・「長崎大学・九州工業大学連携協定」 九州工業大学 学長 尾家祐二氏 長崎大学 副学長 山本郁夫氏 ・「宮崎大学の活動事例～地域貢献事業～」 宮崎大学 学長 池ノ上克氏 ・「九州工業大学 未来思考キャンパス構想」 九州工業大学 総括副学長 三谷康範氏 ・「九経連のベンチャー支援・人材育成の取組」 (事務局) <全体討議>
九州女性の会		
2021/10/26	役員会 (福岡市)	<議事> ・役員改選(次期正副会長)について ・今年度事業の進め方について
2021/11/24	11 月例会 (福岡市)	<講演> 演題：どのようにすれば社長が動かす社員が主体的に動き売上が上がり続けるだろうか 講師：(一社)すこい会議 すこい会議認定プロ コーチ 石田 一真 氏

2022/01/19	1月例会 (福岡市)	<卓話並びに意見交換> 演題：女性活躍の取り組みについて 講師：九経連・倉富会長
2022/02/16	2月例会 (福岡市)	<講演> 演題：九州経済の概要と今後の見通しについて 講師：(公財)九州経済調査協会 事業開発部 研究主査 小柳 真二
2022/03/24 ~25	3月例会 (鹿児島視察会)	<視察先および内容> ・塩田康一・鹿児島県知事表敬訪問 ・かこしまセンター平等推進プロジェクトに関する意見交換会 ・城山ホテル視察、相良病院視察並びに懇談

九州地域戦略会議

開催日	会合名	内容
2021/05/19	第39回九州地域戦略会議 (WEB会議)	<審議> ・ コロナ禍を踏まえた九州創生の取り組みについて ・ ツール・ド・九州(仮称)について <その他> ・ 九州・長崎IRについて ・ 第18回夏季セミナーについて
2021/10/22	第40回九州地域戦略会議 (別府市)	<審議> ・ 新型コロナウイルス感染症の検証と今後の対応について ・ 九州創生(「JEWELS+」)の推進について ・ 決算・予算、役員選任 <報告> ・ ツール・ド・九州について ・ 九州・長崎 IR について ・ 再生可能エネルギー産業化推進委員会の活動報告と2022年度事業計画 ・ 九州・沖縄文化力推進会議R4年度事業計画(案) ・ 70歳現役社会実現に向けた連携について
2021/06/07	臨時九州地域戦略会議(書面開催)	<協議事項> ・ 役員の選任について <提案内容> ・ 九州地域戦略会議共同議長の選任について
2022/03/01	臨時九州地域戦略会議(書面開催)	<協議事項> ・ 役員の選任について <提案内容> ・ 九州地域戦略会議監事の選任について
2021/04/09	幹事会 (熊本市)	<議題> ・ 第39回九州地域戦略会議の開催要領(案)について ・ 第39回九州地域戦略会議 議題について
2021/08/26	幹事会 (WEB会議)	<議題> ・ 第40回九州地域戦略会議の開催要領(案)について ・ 第40回九州地域戦略会議 議題について
2022/02/09	幹事会 (WEB会議)	<議題> ・ 「JEWELS+」におけるグリーン社会実現に向けた取り組みについて ・ 第19回夏季セミナーについて ・ 第41回戦略会議に係る議題等について
再生可能エネルギーへの取り組み		
2021/09/29	再生可能エネルギー産業化推進委員会 第1回委員会 (WEB)	<議題> ・ 実務者会議からの報告 ・ 事務局報告 <講演> ・ 資源エネルギー庁
2022/03/04	再生可能エネルギー産業化推進委員会 第2回委員会 (WEB)	<議題> ・ 実務者会議からの報告 ・ 事務局報告 <講演> ・ 資源エネルギー庁

2021/09/07	第1回地熱・温泉熱エネルギー産業化実務者会議 (WEB)	<議題> ・ APIに関する各県からの状況報告 ・ 地熱・温泉熱PJ組成件数 ・ 再エネ委員会からの報告 ・ R3年度事業計画等 <講演> ・ 九州大学
2022/02/16	第2回地熱・温泉熱エネルギー産業化実務者会議 (WEB)	<議題> ・ APIに関する各県からの状況報告 ・ 地熱・温泉熱PJ組成件数 ・ 再エネ委員会からの報告 ・ R4年度事業計画等 <講演> ・ 九州地方環境事務所
2021/09/01	第1回海洋エネルギー産業化実務者会議 (WEB)	<議題> ・ 各委員の取り組み状況・翌年度計画報告 ・ 合同活動・展示会出展・セミナー開催報告 ・ 再エネ委員会からの報告 ・ 今後の実務者会議活動 KPI 指標
2022/02/08	第2回海洋エネルギー産業化実務者会議 (WEB)	<議題> ・ 各委員の取り組み状況・翌年度計画報告 ・ 合同活動・展示会出展・セミナー開催報告 ・ 再エネ委員会からの報告 ・ 今後の実務者会議活動 ・ KPI指標
2021/09/17	第1回水素エネルギー産業化実務者会議 (WEB)	<議題> ・ APIに対する取り組み報告 ・ 新規企業参画 ・ 再エネ委員会からの報告 <講演> ・ 資源エネルギー庁 ・ 九州電力
2022/01/12	第2回水素エネルギー産業化実務者会議 (WEB)	<議題> ・ APIに対する取り組み報告 ・ 今後の企業参画 ・ 再エネ委員会からの報告

経済団体等との懇談

開催日	会合名	内容
九州経済を考える懇談会		
2021/07/07	第1回懇談会 (福岡市)	・ 2021/07/07
2022/02/09	第2回懇談会 (福岡市)	・ 2022/02/09
九州経済団体 総務担当者会議		
2021/04/08	4月例会	<議題> 各団体の活動状況
2021/05	5月例会(書面開催)	
2021/06/09	6月例会(書面開催)	
2021/07/12	7月例会	
2021/08/04	8月例会(書面開催)	
2021/09/01	9月例会(書面開催)	
2021/10/05	10月例会	
2021/11/09	11月例会	
2021/12/10	12月例会	
2022/01	1月例会(書面開催)	
2022/02/16	2月例会(書面開催)	
2022/03/11	3月例会(書面開催) (福岡市)	

Ⅲ 委員会活動

資源エネルギー・環境委員会

開催日	会合名	内容
2022/03/16	2021 年度委員会 (福岡市)	<p><内容></p> <p>【第 1 部：委員会】</p> <p>1. 2021 年度 資源エネルギー・環境委員会 事業報告</p> <p>2. 2022 年度 資源エネルギー・環境委員会 事業計画 (案)</p> <p>【第 2 部：九州カーボンニュートラル経営推進セミナー】</p> <p>1. 開会挨拶</p> <p>・九州経済産業局 局長 後藤 雄三 氏</p> <p>・九経連資源エネルギー・環境委員会委員長 瓜生 道明 氏</p> <p>2. 特別講演</p> <p>「カーボンニュートラルに向けて ～ミウラは、熱ソムリエ。～」</p> <p>三浦工業株式会社 代表取締役 社長執行役員 CEO 宮内 大介 氏</p> <p>3. 事例発表</p> <p>「有機系地域資源リサイクルによる循環経済社会構築とカーボンニュートラルに向けたソリューション事業」</p> <p>株式会社ウエルクワイエト 代表取締役会長 松尾 康志 氏</p> <p>「ブロックチェーンで実現する産学官連携カーボンニュートラル構想のご紹介」</p> <p>株式会社 chaintope 代表取締役 CEO 正田 英樹 氏</p>
2022/01/24	2021 年度企画部会 (福岡市)	<p><内容></p> <p>1. 開会挨拶</p> <p>戸上部会長挨拶</p> <p>2. 講演・意見交換</p> <p>「第 6 次エネルギー基本計画について」</p> <p>経済産業省 資源エネルギー庁 長官官房 総務課 需給政策室/調査広報室 室長補佐 (総括) 宇野 雄哉 氏</p> <p>3. 事例発表</p> <p>「脱炭素に向けた新たな挑戦 ―DX と GX―」</p> <p>①東芝ネクストフロンティア株式会社 代表取締役社長 新貝 英己 氏</p> <p>②自然電力株式会社 エナジーデザイン部長 佐々木 周氏</p> <p>4. 議事</p> <p>①2021 年度 資源エネルギー・環境委員会 事業報告</p> <p>②2022 年度 同委員会事業計画骨子(案)</p>
2021/10/26	第 1 回 ESG 推進 WG (福岡市)	<p><内容></p> <p>①ESG・SDGs から考える地域金融</p> <p>②九州・山口地銀各々の ESG/SDGs 関連の取り組み</p> <p>③今後の進め方・検討の方向性</p>
2022/01/20	第 2 回 ESG 推進 WG (福岡市)	<p><内容></p> <p>①RESASから見た九州・沖縄・山口の地域経済の特徴</p> <p>②九州・沖縄・山口のサステナビリティ向上に向けた重要課題の検討</p> <p>③九州・沖縄・山口の地域金融機関の連携による ESG 推進策の検討</p>

産業振興・デジタル推進委員会

開催日	会合名	内容
2022/03/16	産業振興・デジタル推進委員会 (オンライン併用) (福岡市)	<p><議題></p> <p>・ 2021年度事業報告</p> <p>・ 2022年度事業計画 (案)</p> <p><講演></p> <p>演題：ローカル5G実用化の現状及び今後について</p> <p>講師：NTTビジネスソリューションズ(株) バリューデザイン部 バリューインテグレーション部ソリューションケーション担当 担当課長 石原 圭太郎 氏</p> <p>日本電気(株) デジタルネットワーク事業部 上席事業主幹 エバンジェリスト 藤本 幸一郎 氏</p>
2021/09/28	第 1 回デジタル推進部会 (オンライン)	<p><議題></p> <p>・2021年度 デジタル推進部会 事業計画・進捗状況について</p> <p>・意見交換①「九州AIビックデータコンソーシアムのこれまでの取り組み状況と今後の展開」について</p> <p>・意見交換②「製造分野等のデジタル化推進に資する産業振興部会との連携」について</p>
2021/09/30	第 1 回産業振興部会	<p><議題></p> <p>・ 2021年度 産業振興部会 事業計画・進捗状況</p>
2022/02/24	第 2 回産業振興部会	<p><議題></p> <p>・ 2021年度 産業振興部会 事業報告</p> <p>・ 2022年度 産業振興部会 事業計画(案)</p>
2021/07/06	産業振興部会 第 1 回先進工場見学会	<p>・ トヨタ自動車九州(株)</p>
2021/09/30	産業振興部会 第 2 回先進工場見学会	<p>・ (株)安川電機</p>
2022/02/24	産業振興部会 先第 3 回先進工場見学会	<p>・ TOTO(株)</p>
2022/03/01	第 2 回デジタル推進部会 (オンライン)	<p><議題></p> <p>・2021年度 デジタル推進部会 活動報告</p> <p>・2022年度 デジタル推進部会 事業計画案説明、意見交換</p>
ベンチャー支援		
2021/10/15	九州・山口ベンチャーマーケットKVM2021 (福岡市)	<p><内容></p> <p>・九州・山口ベンチャーアワーズ(九州 9 県選抜ベンチャー18 社のピッチコンテスト)</p> <p>(主催：九州・山口ベンチャーマーケット実行委員会)</p>
2021/11/30	StartupGo!Go!2021 (福岡市)	<p><内容></p> <p>・国内外 33 のスタートアップが優勝をかけて行う ThePitch を開催 (起業家万博・甲子園への出場権、NEDO 「TCP」への選抜権、総務省 NICT・経済産業省 NEDO の九州予選を兼ねる)</p> <p>・DX 等に関するテーマ別セッション</p> <p>(主催：(一社)Startup GoGo)</p>
2021/12/18	第 21 回九州・大学発ベンチャー・ビジネスプランコンテスト (福岡市)	<p><内容></p> <p>・ コンテスト(54 チーム応募)</p> <p>・ 表彰式 グランプリ他の表彰 (九経連賞含む)</p> <p>(主催：九州ニュービジネス協議会等)</p>
2022/1/26	第 19 回 KIX+ (オンライン版) Keidanren Innovation Crossing (東京都)	<p><内容></p> <p>・StartupGoGo と KVM 実行委員会から推挙された九州発ベンチャー6 社が登壇、今回初参加 (主催：経団連)</p>

2022/02/02	第6九州・大学発ベンチャー振興会議 (福岡市)	<p><議題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・九州・大学発ベンチャー振興会議活動報告 ・大学からの報告 ・シーズ事業化の進捗状況 ・企業ニーズと大学シーズとのマッチング結果 <p>(事務局：(一社)九州オープンイノベーションセンター、FVP、九経連)</p>	2021/12/06	セキュリティ技術者（実務者）向けサイバーセキュリティ勉強会 (福岡市)	<p>「手軽に使える各種ツールを活用したサイバーセキュリティ対策」</p> <p>講義：サイバー攻撃の動向とプロセス</p> <p>演習：調査のためのサービス、ツール</p> <p>「AGUSE」「VirusTotal」「Google ハッキング」「自診くん」「NO MORE RANSOM」「EmoCheck」「SHODAN」など</p> <p>講師：(株)ラック 新規事業開発部 兼 サイバーグリッドジャパン 主席研究員 長谷川 長一 氏</p>
中堅・中小企業の生産性向上への取り組み					
2021/11/29	生産性向上Webセミナー (オンライン、福岡市)	<p><講演①></p> <p>演題：トヨタ生産方式（TPS）によるものづくり力の向上～現地現物での人材育成～</p> <p>講師：トヨタ自動車九州株式会社 TPS推進室室長 北原 晃治 氏</p> <p><講演②></p> <p>演題：IoT 活用による生産性向上事例～まず、自分達でやってみる！</p> <p>講師：株式会社戸畑ターレット工作所 DX 推進課長 中野 貴敏 氏 株式会社勝山工作所 管理部 井上 幸子 氏</p> <p><講演③></p> <p>演題：中小企業の生産性向上支援について</p> <p>講師：中小企業基盤整備機構九州本部九州本部長 橋本 大哉 氏</p>	2022/02/24	第2回サイバーセキュリティセミナー (オンライン)	<p>「DXの現状と展望～デジタル社会に向けたセキュリティの重要性～」</p> <p><講演></p> <p>演題：デジタル社会の実現に向けた重点計画について</p> <p>講師：デジタル庁 セキュリティチーム 参事官補佐 迫田 章平 氏</p> <p>演題：デジタル個人認証「まほし ID」の取組</p> <p>講師：ゼロイト・マトグループ ボードメンバー 有限責任監査法人トーマツ G&PS インダストリーリーダー 香野 剛 氏</p> <p>演題：地域セキュリティ・コミュニティ形成に向けて</p> <p>講師：九州経済産業局 地域経済部 情報政策課 デジタル経済室 室長補佐 村上 孝誠 氏</p> <p>演題：改正個人情報保護法/改正電子帳簿保存法について～実務対応上の留意点～</p> <p>講師：EY ストラテジー・アンド・コンサルティング(株) テクノロジリスクパートナー 梅澤 泉 氏</p>
サイバーセキュリティ推進への取り組み					
2021/05/26	サイバーセキュリティ推進WG_第1回WG (オンライン)	<p><議題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1回サイバーセキュリティセミナー(企画) ・月報9月号への寄稿(依頼) ・月報7月号への講演要旨の掲載(報告) ・セキュリティ相談窓口への相談事項(議論) 	2022/03/18	第2回九州サイバーセキュリティシンポジウム (北九州市)	<p>産業システムのサイバーセキュリティを中心に、九州におけるサイバーセキュリティ意識の醸成、対策向上、産官学連携強化などを目的に、九州の地場企業や専門家等が広く集まる場。今年度は、サプライチェーン全体でサイバーセキュリティ対策を講じていくことはもちろんのこと、インシデントが発生した際に、いかにサプライチェーンの被害を最小化するか、自社のサービスや事業を継続していくかといった企業経営の視点も踏まえながら、リスクと対策について理解を深め、議論した。</p>
2021/08/25	サイバーセキュリティ推進WG_第2回WG (オンライン)	<p><議題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1回サイバーセキュリティセミナー(状況) ・月報7月号の講演要旨掲載(報告) ・技術者向け勉強会(企画検討) ・当会后援の日経デジタルフォーラム(共有) 	ICT 人材育成への取り組み		
2021/10/20	サイバーセキュリティ推進WG_第3回WG (オンライン)	<p><議題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・技術者向け勉強会(企画検討) ・第2回サイバーセキュリティセミナー(企画) ・月報への寄稿等による情報発信(共有) 	2021/07/29	先導的 ICT 人材育成事業 キックオフ会議 (オンライン)	<p><内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・実践インターンシップの概要説明 ・昨年度の本事業参加者等から今年度参加者へのアドバイス ・今年度参加学生の紹介 ・今年度参加学生によるスピーチ(抱負等) ・実践インターンシップの進め方の説明
2021/12/15	サイバーセキュリティ推進WG_第4回WG (オンライン)	<p><議題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・技術者向け勉強会(実施報告) ・第2回サイバーセキュリティセミナー(企画) ・月報への寄稿等による情報発信(共有) ・次年度の取組みについて(照会) 	2021/12/16	先導的 ICT 人材育成事業 第25回成果報告会 (オンライン)	<p><内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度参加学生による実践インターンシップの参加報告(20名) ・修了証書授与 ・受入れ企業関係者による講評
2021/08/24	第1回サイバーセキュリティセミナー (オンライン)	<p>「アフターコロナを見据えたニューノーマル時代のサイバーセキュリティ対策」</p> <p><講演></p> <p>演題：コロナ禍における最新のサイバーセキュリティ事業の解説と具体的な対策について</p> <p>講師：三井物産セキュアディレクション(株) コンサルティングサービス事業本部 本部長 関原 優 氏</p> <p>演題：クラウドサービスのサイバーセキュリティ対策</p> <p>講師：(株)ラック サイバーセキュリティサービス統括部 デジタルベンテスサービス部 部長 仲上 竜太 氏</p> <p><施策紹介></p> <p>演題：地域におけるサイバーセキュリティコミュニティの形成に向けて</p> <p>講師：経済産業省 九州経済産業局 地域経済部 情報政策課 デジタル経済室 室長補佐 村上 孝誠 氏</p>	2022/03/16	先導的 ICT 人材育成事業 関係者会議 (書面開催)	<p><内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・2021年度の実施結果に関する報告 ・2021年度の振り返りと2022年度の実施内容に関する説明および議論 ・2022年度実施に向けたお願い
			2022/3/22～31	データ活用研修 (E-ラーニング)	<p><内容></p> <p>データ利活用人材の普及に向け、データ分析の初学者の方を対象に、ビジネスでデータを活用するために必要なスキル、考えるべきポイントやデータ分析プロジェクトの流れ、データ分析の具体例を E-ラーニングで学習(30社30名参加)</p>

観光委員会

開催日	会合名	内容
2022/03/24	第1回企画部会 (福岡市)	<議題> ・2022年度の主要事業進捗
サイクルツーリズムの推進(ツール・ド・九州)		
2021/06/29	ツール・ド・九州 第1回実行委員会 (福岡市)	<議事> ・実行委員会設立 ・規約等の承認等
2021/10/15	ツール・ド・九州 第2回実行委員会 (福岡市)	<議事> ・委託事業者(大会運営)について ・その他進捗報告

農林水産委員会

開催日	会合名	内容
2021/10/14	第1回委員会 (Web 併用開催)	<議題> 上期活動実績・トピックス ・農林水産業の振興に関する国への要望活動 ・建築物の木造・木質化に関する取り組み ・九州の農林水産業の生産者に対する支援基盤形成の取り組み ・「九州の食輸出協議会」の輸出拡大の主な取り組み <活動紹介> 演題：海の高速度道路～モーダルシフトの受け皿に～ 講師：東京九州フェリー(株) 取締役営業部長 兼 新門司支店長 寺田 光徳 氏 <講演> 演題：みどりの食料システム戦略～食料・農林水産業の生産力向上と持続性の両立をイノベーションで実現～ 講師：農林水産省 大臣官房 環境バイオマス政策課長 秋葉 一彦 氏 演題：農業現場の現状とこれからの日本農業 講師：東海大学 経営学部 学部長 榎木之内農園 代表取締役会長 木之内 均 氏
2022/3/15	第2回委員会 (Web 併用開催)	<議題> ・2021年度活動実績 ・2022年度活動計画(案) ・2022年度国への要望(案) <講演> 演題：日本の農業・食料産業の活性化に向けて 講師：西南学院大学教授 東京大学名誉教授 本間 正義 氏 演題：産業連関による脱炭素推進と農業の生産性向上の事例紹介 講師：(株)誠和 代表取締役 大出浩睦 氏 佐賀市 企画調整部バイオマス産業推進課 主査 前田 修二 氏
2021/6/22	第1回企画部会 (Web 併用開催)	<議題> ・2021年度活動計画の実施項目の検討状況 (現場視察会、 農業の労働力支援の取り組み、 九経連・経団連共催 農業活性化 に向けた企業タイアップセミナー、 外部機関との連携事業) <講演> 演題：農家の課題を解決する新しいカタチ～アグリトロ オの人材マッチングの取り組み～ 講師：(株)アグリトロ 代表取締役 CEO 石川 浩之 氏

2022/2/17	第2回企画部会 (Web 併用開催)	<講演> 演題：女性の力・アイデアを生かした地域農業活性化 ～福岡農業女子プロジェクトの取り組み～ 講師：福岡農業女子グループ「Happy Farming～い いっちゃんい福岡」 代表 星野 純子 氏 <議題> ・2021年度活動実績 ・2022年度活動計画(案) ・2022年度農業・畜産関係要望事項(案)
2021/12/10	企画部会 農業現場視察会	<視察先> 農研機構九州沖縄農業研究センター 筑後・久留米研究拠点(久留米) (福岡県久留米市御井町 1823-1) 筑後・久留米研究拠点(筑後) (福岡県筑後市和泉 496) <参加者> 11名
2021/06/15	第1回林業部会 (Web 併用開催)	<議題> ・2021年度林業部会事業計画、活動スケジュール及 び視察会の開催 ・2021年1月～林業関係輸出実績推移 <講演> 演題：災害に強い森づくり(その2) 講師：国土防災技術(株) 取締役事業本部長 田中 賢治 氏
2022/02/22	第2回林業部会 (Web 併用開催)	<議題> ・2021年度林業部会活動実績 ・林野庁ウッド・チェンジ協議会小グループ活動 ・2022年度林業部会事業計画(案) ・2022年度林業関係要望事項(案)
2021/06/17	第1回水産部会 (Web 併用開催)	<議題> ・2021年度水産部会活動計画の実施状況 ・2021年度水産業関係要望事項 <講演> 演題：閉鎖循環式陸上養殖システムの未来 講師：(株)FRD ジャパン 取締役 COO 十河 哲朗 氏
2022/02/14	第2回水産部会 (Web 併用開催)	<議題> ・2021年度活動実績報告 ・2022年度活動計画(案) ・2022年度水産業関係要望事項(案) <講演> 演題：「みどりの食料システム戦略」の達成 に向けた取り組み 講師：国立研究開発法人水産研究・教育 機構 水産技術研究所 養殖部門 部門長 山野 恵祐 氏
2021/09/15	第1回林業部会 調査・研究 WG (Web 併用開催)	<議題> ・福岡市長への要望書手交 ・サプ ライフェ構築を見据えた木造ビル推進活動の強化 ・2021年度要望活動(定例)結果 ・林業関係輸出実績(1月～7月) <講演 1> 演題：公共建築物木材利用促進法改正等について 講師：林野庁九州森林管理局 次長 川戸 英騎 氏 <講演 2> 演題：林業における Jクレジットの活用について 講師：Jクレジット制度事務局 コンサルタント 加藤 史洋 氏 <講演 3> 演題：長崎県における Jクレジットの活用について 講師：(公社)長崎県林業公社 総務課長 狩野 涉 氏

2021/11/25	第1回林業部会 事業 WG (Web 併用開催)	<p><議題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・2022 年度中央省庁への要望内容検討依頼 ・現場視察会実施報告 ・林業関係輸出実績(1月～9月) ・福岡市長への要望実施状況 <p><講演></p> <p>演題：都市の木造木質化を通じて持続可能な未来を ～MEC Industry の目指す世界～</p> <p>講師：MEC Industry(株) 社長 森下 喜隆 氏</p>
2021/10/15	林業部会 林業関係現場視 察会	<p><視察先></p> <ul style="list-style-type: none"> ・九州電力(株)社有林(くじゅう九電の森) (由布市湯布院町) スマート林業(ドローン活用実演等) モデル林(群状択伐)等視察 ・昭和電工武道スポーツセンター (大分市) 木造建築、木質化 館内視察 <p><参加者> 17 名</p>
2021/12/24	第1回九経連モ ビル研究会(キック オフ会議) (Web 併用開催)	<p><内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・パネルディスカッション テーマ「伸びゆく木造ビルの課題と対策」 パネラー：各県 木造ビル構造標準モデル 作成チーム代表等 コーディネーター：FTB Lab 代表 倉掛 健寛 氏 <p><講演></p> <p>演題：木造建築事例紹介・課題等について</p> <p>講師：福岡県建築士会 会長 鮎川 透 氏</p>
2022/03/30	題2回九経連 モビル研究会 (Web 併用開催)	<p><講演></p> <p>NPO 法人 team Timberize</p> <p>理事(前理事長) 腰原 幹雄 氏</p> <p>理事長 安井 昇 氏</p> <p>演題：中層木造の展開(腰原氏)</p> <p>演題：3 階建て・4 階建て事務所の防耐火 設計(安井氏)</p> <p><内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・事例発表「宮崎県の木造建築事例等」 (一社) 宮崎県建築士事務所協会 常任理事 岡崎 誠二 氏 ・課題発表 テーマ：伸びゆく木造ビルの取り組みについて 発表者：各県 木造ビル構造標準モデル 作成チーム代表等 ・パネルディスカッション(質疑応答) テーマ：伸びゆく木造ビルの課題と対策 パネラー：各県 木造ビル構造標準モデル 作成チーム代表等 アドバイザー：腰原 幹雄 氏、安井 昇 氏 コーディネーター：FTB Lab 代表 倉掛 健寛 氏
「九州食堂」事業 ～「社食で地産地消」「出張販売で地産地消」～		
2021/07/20	第1回「九州食堂」 事業実行委員会 (Web 併用開催)	<p><内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・2020 年度「九州食堂」事業実施報告書 ・2021 年度「九州食堂」事業の具体的な進め方 ・その他連絡事項等
2021/09/28	第2回「九州食堂」 事業実行委員会 (Web 開催)	<p><内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・2021 年度「九州食堂」事業の実施前状況報告 ・各委員からの情報及び意見交換 ・その他連絡事項等
2022/03/11	第3回「九州食堂」 事業実行委員会 (Web 開催)	<p><内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・2021 年度「九州食堂」事業の振り返り ・「九州食堂」の開催後アンケート結果報告 ・2022 年度以降「九州食堂」事業の解消

企業の農業参入促進		
2021/10/26	九経連・経団連共 催 農業活性化に向け た企業タイアップセミ ナー (Web 開催)	<p><概要></p> <ul style="list-style-type: none"> ・企業による農業参入をはじめとする経済界と農業界の タイアップを促進し農業の活性化を図るため、農業参 入がビジネスや地域をどう変えていくか等、参入企業、 自治体の視点から議論するとともに、九州各県の支援 体制等について紹介する。 <p><パネルディスカッション></p> <p>テーマ：地域・農業の活性化に向けて～企業による農 業参入の展望～</p> <p>コーディネーター 三輪 泰史 氏 (株)日本総合研究所 創発戦略センター エクスパート)</p> <p>パネリスト 林田 安弘 氏 (西日本鉄道(株) 新領域事業開発 部長 兼 NJ アグリサポート(株)社長)</p> <p>及川 智正 氏 (株)農業総合研究所 会長 CEO)</p> <p>藤原 博文 氏 (大分県農林水産部 新規就業・経営体支援課長)</p>
<各県プレゼンテーション>		
企業の農業参入状況、支援体制等について		
説明者：		
宮崎県農政水産部 農業担い手対策課		
臼杵 英恵 氏		
熊本県農林水産部 流通アグリビジネス課		
下門 真由美 氏		
<参加者> 110 名		
スマート農業推進		
セミナー 2021/11/16 ～18	九経連 スマート農 業推進オンラインセ ミナー & 個別相談 会 (Web 開催)	<p><概要></p> <ul style="list-style-type: none"> ・スマート農業の 17 の取組事例やソリューション等を紹介 し、現場における様々な課題解決の一助となるよ う、スマート農業推進オンラインセミナーを開催。また、 今回のセミナーをご覧になり、ご関心のある方に向け た、相談希望先の県・大学・企業・団体等との個別 相談会を後日、別途開催(相談希望者のみ) <p>・事例講演は録画してYouTube配信 (限定公開、2021 年 2 月末→3 月末へ延長)</p> <p><テーマ></p> <p>スマート農業の取り組みの推進～稼げる農業の実現に 向けて～</p> <p><内容></p> <p>基調講演と以下の県・大学・企業・団体等の講師より 17 の事例講演</p> <p>11/16 基調講演 演題：スマート農業技術の開発・実証の進展 講師：農研機構 副理事長 中谷 誠 氏</p> <p>事例講演 (株)YSK e-com、茨城県農業総合センター、 (株)NTT ドコモ九州支社、ソフトバンク(株)、 (株)誠和 (5 講演)</p> <p>11/17 事例講演 クボタアグリサービス(株)、長崎県農林技術開発 センター 研究企画部門、J A 宮崎中央田野支店 きゅうり部会ラプター会、長崎県農林技術開発 センター 果樹・茶研究部門、(株)インターネット イニシアティブ、(株)牛越製作所・長野県農業試験場 (6 講演)</p> <p>11/18 事例講演 熊本県立大学環境共生学部、熊本県農業研究 センター、inaho(株)、(株)日本計器鹿児島製作所、 (株)オプティム、鹿児島大学農学部 (6 講演)</p> <p><参加者> 延べ 437 名</p>
個別相談会 申し込みがなく 不開催		

交通委員会

開催日	会合名	内容
2021/7/9	第1回企画部会 (福岡市)	<議題> ・2021年度事業計画 ・交通基盤の整備に関する要望(案) <講演> 演題:「アフトコロのイン・アウトバウンド促進に向けた空港連携」 講師: (株)MK総合研究所 代表取締役 幕 亮二 氏
2022/3/8	第2回企画部会 (福岡市)	<議題> ・2022年度事業計画(案)、2021年度活動報告 <講演> 演題:「地域と一体となったモビリティサービス・MaaSの取り組み」 講師:九州旅客鉄道(株) 総企画部 経営企画部 モビリティサービス推進室長 木下 貴友 氏 西日本鉄道(株) まちづくり・交通・観光推進部 課長 阿部 政隆 氏
2021/8 下旬	九州・山口地域における交通基盤整備に関する要望	<要望先> 内閣府、財務省、経産省、国交省、国会議員等
次世代交通システム導入等による地域交通課題解決の事例づくり		
2021/07/15	第3回きやま地方創生モビリティ研究会 (佐賀県基山町)	<概要> ・スマートモビリティ事業(案)の提案、意見交換 ・本研究会から基山町への提言 参加者:12名 <議案> ・開会挨拶:佐賀県基山町 町長 松田 一也 氏 ・委員長挨拶:熊本学園大学 教授 溝上 章志 氏 ・事業内容:(株)福岡Jカナル 課長 山下 賢一郎 氏 ・今後の運営方針:九経連 観光社会基盤部 参事 上田 浩貴
九州の空港施策の方向性を検討するプラットフォームの立ち上げ		
2021/11/12	ウェビナー 「アフトコロを見据えた九州域内の空港連携について」	<概要> ・アフトコロを見据えた今後の取り組むべき課題、オール九州での路線誘致や振興を促進する上で各県の空港間連携のあり方についてウェビナーを開催 <講演> 視聴者:116名 演題:「関西3空港の一体運営の歴史と今後の展望」 講師:(公社)関西経済連合会 理事・地域連携部長 神田 彰 氏 <トークセッション> テーマ:「九州の空港間連携・官民連携」 コメンテーター 慶應義塾大学商学部 教授 加藤 一誠 氏 北九州市立大学大学院 教授 幕 亮二 氏 (公社)関西経済連合会 理事・地域連携部長 神田 彰 氏 モデレーター 九経連 観光社会基盤部長 升本 喜之
西九州新幹線開業と今後の整備促進に資する取り組み		
2021/12/13	シンポジウム 「新幹線を活かす地域づくり～オール九州からの視点と戦略～」	<概要> ・2022年秋に、西九州新幹線武雄温泉駅～長崎駅間が開業予定。新幹線を九州各地の地域・産業振興に繋げる戦略や方策について幅広い視点から議論 <講演> 出席者:115名 演題:「新幹線効果やまちづくりについて」 講師:(公財)九州経済調査協会 事業開発部長 岡野 秀之 氏 演題:「新幹線の延伸と地域振興」 講師:(一社)インフラ経営研究所 専務理事 小林 茂 氏 <パネルディスカッション> テーマ:「新幹線を九州各地の地域・産業振興に繋げる戦略や方策」 パネリスト (公財)九州経済調査協会 事業開発部長 岡野 秀之 氏 (一社)インフラ経営研究所 専務理事 小林 茂 氏 熊本県立美術館 参与 宮尾 千加子 氏 武雄商工会議所 会頭 溝上 邦治 氏 大村商工会議所 副会頭 時 忠之 氏 コーディネーター (株)MK総合研究所 所長 幕 亮二 氏

国際委員会

開催日	会合名	内容
2022/02/08	委員会・特別講演会 (福岡市)	<議事> ・報告 国際委員会 2021年度事業実績 ・審議 国際委員会 2022年度事業計画(案) <特別講演> (テーマ) 地域的な包括連携(RCEP)協定の概要 (講師) 経済産業省 通商政策局経済連携課 経済連携推進専門官 柴 多佳彦 氏
2021/10/19	企画部会・特別講演会 (福岡市)	<議事> ・2021年度上期事業実績・下期事業計画 <特別講演> (テーマ)『ベトナム・九州間の関係強化促進～新型コロナウイルス感染症パンデミックとその後～』 (講師) 福岡ベトナム社会主義共和国領事館 総領事 ヴー・ビン氏
環黄海交流事業		
2021/11/16	第19回環黄海経済・技術交流会議 (熊本市)	<内容> ・「河川証対応型ビジネス」「環境・エネルギー」「地域間交流」の3分野をテーマに「環黄海経済・技術交流会議」を開催。3か国の技術・取り組みを紹介し、総括を実施。 <講演> (感染症対応型ビジネス分野) ・「感染症に対応した商品開発について」 金剛(株) 社長 田中 稔彦 氏 ・「紫外線照射装置の可能性について」 エアロシールド(株) 代表取締役 木原 寿彦 氏 (環境・エネルギー分野) ・「プラスチックマテリアル再生事業におけるAIロボット・IT技術の活用について」 有価物回収協業組合石坂グループ 環境事業本部 部長 石坂 繁典 氏 ・「燃焼灰の新しい利活用技術～循環美の創造について～」 (福岡建設設材 社長 福岡 大造 氏) (地域間交流分野) ・「熊本市の魅力紹介～本市の産業と豊かな観光資源」 熊本市 経済環境局長 田上 聖子 氏
中国との経済交流事業		
2021/05/13	中国大連・日本九州協力セミナー及び「中日(大連)地方発展協力モデル区」説明会 (オンライン開催)	<内容> ・大連は、2020年4月に設立された中日地方発展モデル区の一つである。九州の経済界が大連市とより一層協力関係を深めるため、セミナーを開催した。 <出席者> 大連市長 陳商旺氏 駐福岡中華民国総領事 律柱軍氏 北九州市長 北橋健治 氏 九経連 会長 麻生泰 (公社)福岡貿易会会長 & 福岡・大連未来委員会委員長 土屋 直知 氏 日中投資促進機構事務局長・みずほ銀行 理事 岡 豊樹 氏
2021/10/13	中国青島・日本九州経済協力セミナー及び「中日(青島)地方発展協力モデル区」説明会 (オンライン開催)	<内容> ・青島は、2020年4月に設立された中日地方発展モデル区の一つである。九州の経済界が青島市とより一層協力関係を深めるため、セミナーを開催した。 (出席者) 駐福岡中華民国総領事 律柱軍氏 下関市長 前田 晋太郎 氏 宮崎市長 戸敷 正 氏 (一社)九州経済連合会会長 倉富 純男 (公社)福岡貿易会会長 & 福岡・大連未来委員会委員長 土屋 直知 氏 日中投資促進機構事務局長・みずほ銀行 理事 岡 豊樹 氏

2022/01/21	新春中国経済セミナー (オンライン開催)	<p><内容></p> <p>・コロナ拡大が、世界に大きく影響する中、日系企業がどう中国事業を展開していくか、特に地理的中国に一番近い九州は今後どういう姿勢で中国との投資貿易などを推進するべきか、今後の中国ビジネスを再考する機会に。</p> <p>(出席者)</p> <p>駐福岡中華民国総領事 律柱軍氏 九経連 会長 倉富 純男 (公社)福岡貿易会会長&福岡・大連 未来委員会委員長 土屋 直知 氏 九州中資企業協会 会長 李 智 氏 日中投資促進機構事務局長・みずほ銀行 理事 岡 豊樹 氏国家情報 センター経済予測部 研究室副主任 邹 士年 氏 AGC株式会社執行役員中国総代表 上田 敏裕 氏</p>	2021/10/19	国際委員会・ 企画部会 特別講演	<p><内容></p> <p>・国際情勢に関する特別講演を実施 <テーマ> ベトナム・九州間の関係強化促進 ～新型コロナウイルス感染症パンデミックとその後～ <講師> 在福岡ベトナム社会主義国総領事館 グー・ビン総領事</p>
台湾との経済交流事業			2021/11/10	第2回 KPC ウェビナー (オンライン開催)	<p><内容></p> <p>・テーマは「人材」、「技能実習/特定技能/高度人材」 ・ベトナムの人材教育企業、日本の受入機関等が登場 <基調講演> (視聴申込数)125名 (テーマ) 在留外国人コロナ禍における現状 (講師) 福岡出入国在留管理局 統括審査官 佐藤 健司氏</p> <p><パネルディスカッション></p> <p>～コロナ禍における外国人材活用の現状と課題～ (パネリスト)</p> <p>(株)エヌチキン・南隆食鳥(株) 社長 徳満 義弘 氏 (一社)外国人材支援機構 常務理事 山口 貴美雄氏 (公財)国際労務管理財団 理事長 池田 英人氏 ESUHAI,CO.,LTD 社長補佐 清水 寛子氏 U-International Human CO.,LTD General Director 佐々木 泉氏 元技能実習生 レー・ティ・リン氏</p>
2021/10/25	ポストコロナ日台 経済フォーラム (オンライン開催)	<p><内容> ポストコロナの日台経済協力やCPTPPに関し 基調講演とパネルディスカッションを行い、経団連をはじめ 各経済団体の代表が登場し意見を述べた。</p>	2022/3/3	第3回 KPC ウェビナー (オンライン開催)	<p><内容></p> <p>・テーマは「日本食と貿易」 ・ベトナムは中間所得層が牽引役となり、引き続き高い 経済成長。消費拡大等、新ビジネスのきっかけ作り <基調講演> (視聴申込数)144名 (テーマ) ベトナムでの日本食の受入及び今後の見通し (講師) 日本貿易振興機構 (JETRO) ハノイ ダイレクター 安長 裕 氏</p> <p><パネルディスカッション></p> <p>～アフターコロナを見据えたベトナム貿易の展開～ (パネリスト)</p> <p>SIM BA TRADING JOINT STOCK COMPANY 社長 グエン・コン・ビン 氏 KAMEREO INTERNATIONAL PTE.LTD 社長 田中 卓 氏 KAMICHIKU VIETNAM JOINT STOCK COMPANY 社長 上村 昌志 氏 日本通運(株) 福岡航空支店 次長 下村 健二 氏</p>
韓国との経済交流事業			タイとの経済交流事業		
2021/11/1	九州・韓国経済協 力会議 2021 (オンライン開催)	<p><内容></p> <p>・福岡市の九経連、韓国・ソウル市、東京をオンラインで結び、 グローバル人材活用の現状と相互交流の促進を図った。</p> <p>(出席者)</p> <p>【九州側 (東京からの出席者含む)】8名 九経連 会長 倉富 純男 (一社)日韓産業技術協力財団 専務理事 内田 敏明 氏 【韓国側】11名 (社)韓日経済協会 常勤副会長 徐錫崇 氏 (財)韓日産業・技術協力財団 産業協力室長 張震旭 氏</p> <p>(テーマ I)</p> <p>グローバル人材活用の現状とポストコロナに向けて (発表者)</p> <p>(財)韓日産業・技術協力財団 産業協力室長 張震旭氏 (一財)日韓産業技術協力財団 常務理事 千吉良 泰三氏 九経連 観光社会基盤部長 升本 喜之 同部主査 崔 惠源 九経連 国際部 参事 西 修 駐福岡大韓民国総領事館 専門官 崔 主栄 氏</p> <p>(テーマ II)</p> <p>相互交流の促進に向けた提案 (発表者)</p> <p>九経連 観光社会基盤部長 升本 喜之 行事運営本部長 趙慶植氏</p>	2022/2/17	タイヘルスケア 産業海外展開 推進ウェビナー (オンライン開催)	<p><内容></p> <p>・日本国同様、高齢化進行への課題がタイでは潜在。 本課題に対する事業は S D G s の観点にも沿うことに 加え、次年度事業を見据えた位置づけとして開催。 <基調講演> (視聴申込数)112名 (テーマ) タイ国内の高齢化の状況及びヘルスケア産業 のニーズについて (講師) 医師 ナート・フォンサムット氏</p> <p><講演 I ></p> <p>(テーマ) みまもりシステム“による海外チャレンジ (講師) (株)エビス 会長 吉武 俊一氏</p> <p><講演 II ></p> <p>(テーマ) ヘルスケア産業におけるタイ王国への 投資状況ならびに恩典施策について (講師) タイ王国大使館経済・投資事務所 (BOI 東京事 務所) 公使 ガンッポン・ショーティパーン氏</p> <p><講演 III ></p> <p>(テーマ) タイとの MOC 締結とヘルスケアアウトバウンドの関係 (講師) 経済産業省 商務・サービス G ヘルスケア産業課 係長 児玉 直哉 氏 お知らせ：事業再構築補助金、事業復活支援金の紹介 九州経済産業局 国際事業課</p>
ベトナムとの経済交流事業			タイとの経済交流事業		
2021/7/15	第1回 KPC ウェビナー (オンライン開催)	<p><内容></p> <p>・ KPCの認知度向上を意識したウェビナーを開催。 ・ テーマは「ベトナム進出(貿易)企業のリアル」 <基調講演> (視聴申込数)138名 (講演 I) ベトナムの政治経済情勢 (講師) 在ベトナム日本国大使館 公使 岡部 大介 氏 (講演 II) ベトナム進出の予備知識 (講師) JETRO ハノイ 経済連携促進 アドバイザー 奥澤 正樹 氏 他 (講演 III) ベトナムの経済及び日本の投資状況 (講師) ベトナム計画投資省 外国投資庁 長官 ド・ニャット・ホアン氏</p> <p><パネルディスカッション></p> <p>～在ベトナム日系企業の経験に学ぶベトナム進出のリアル～ (パネリスト)</p> <p>AAACONSULTING CO.,LTD 代表取締役 今森 教仁氏 N-Asset Vietnam Company Limited 代表取締役 西村 武将氏 富田薬品(株) ハノイ駐在員事務所長 三宅 孝毅氏</p>			

シンガポールとの経済交流事業		
2021/5/27	シンガポール販路 開拓ウェビナー (オンライン開催)	<p><内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・シンガポールへの輸出事業展開成功の秘訣を伝える <p><基調講演> 参加者：107名(講師、事務局を含む)</p> <p>(テーマ) 海外就航エアラインへの九州、福岡空港のマーケティング～福岡国際空港(FIAC)の知見の共有～</p> <p>(講師) 福岡国際空港(FIAC) 執行役員空港営業本部長 チンリオン・テオ 氏</p> <p><トークセッション></p> <p>～シンガポールでの物産事業展開を成功させるための秘訣～</p> <p>JRE GF FOOD SERVICE PTE.LTD Director 大見山 俊雄 氏</p> <p>R&W Consultancy Pte, Ltd. / Office Reiko Amano 天野 礼子 氏</p> <p>Global Partners Consulting コンサルティングマネージャー 泉 美帆 氏</p> <p>九州農水産物直販(株) 総務企画部長 高村 水碧 氏</p>

ASEAN との経済交流事業		
2021/10/21	ASEAN 展開 実践ウェビナー (オンライン開催)	<p><内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ASEAN各国の法制度の違いや知財戦略など、現地に進出する際に事前に把握しておくべきポイント等について、国ごとに比較しながら学べる機会を提供。九州企業の海外戦略の策定やサプライチェーンの見直し、スムーズな現地進出に向けた準備等を後押し。 <p><講演> (視聴申込数)111名 (テーマ) インドネシア、マレーシア、タイ、ベトナムの法制度の違いと現地進出の最新実務</p> <p>(講師) 弁護士法人 One Asia / One Asia Lawyers</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福岡オフィス 越路 倫有 弁護士 ・インドネシアオフィス 馬居 光二 弁護士 ・マレーシアオフィス 橋本 有輝 弁護士 ・タイオフィス 藤原 正樹 弁護士 ・ベトナムオフィス 松谷 亮 弁護士 <p><施策紹介 I ></p> <p>～海外知的財産プロデューサーによる海外展開支援～ (講師) 独立行政法人工業所有権情報・研修館 (INPIT) 海外知的財産プロデューサー 前山 和夫 氏</p> <p><施策紹介 II ></p> <p>～海外展開の際に使える支援策～</p> <ol style="list-style-type: none"> 1). 海外サプライチェーン多元化等支援事業の紹介 (講師) 経済産業省 貿易経済協力局 貿易振興課 吉田 ひかり 氏 2). 事業再構築補助金の紹介 (講師) 九州経済産業局 経営支援課 西田 健太郎 氏 3). ものづくり補助金の紹介 (講師) 同局 投資交流促進課 干治松 潤 氏

2022/3/9	ASEAN 展開 支援ウェビナー (オンライン開催)	<p><内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染拡大により海外渡航が制限され、海外展開が難しい中、アフターコロナを見据え、ASEAN主要国を中心に新たに海外展開を目指す企業、ならびに既に海外展開している企業にとって、ASEAN主要国の現地最新情報は、重要な指標と考えられることから、企業の海外展開を支援することを目的に開催。 ・幅広い業態から聴講いただき、アフターコロナの海外展開に関心が高いことが伺われた。 <p><講演 I > (視聴申込数)127名 (テーマ) アフターコロナにおけるASEAN主要国の社会・経済の見通しと JICA の取り組み (講師) (独)国際協力機構 東南アジア・大洋州部 審議役・次長 安井 毅裕 氏</p> <p><講演 II > (テーマ) ASEAN 主要国での海外取引における、外資規制等の現地法律上の留意点 (講師①) 明倫国際法律事務所 代表 田中 雅敏 弁護士 ベトナム ルノオフィス 原 智輝 弁護士 (担当国: ベトナム、インドネシア、タイ) (講師②) 西村あさひ法律事務所 シンガポール事務所 山中 政人 弁護士 佐藤 正孝 弁護士 眞栄城 大介 弁護士 (担当国: シンガポール、マレーシア、フィリピン)</p> <p><海外展開に関する支援策のお知らせ> 九州経済産業局 国際部 投資交流促進課</p>
----------	----------------------------------	---

行財政委員会

開催日	会合名	内容
2022/3/11	第1回委員会 (福岡市)	<p><講演></p> <p>演題: スマートシティ推進による新たな地方創生戦略～デジタル田園都市国家構想が目指す未来～ 講師: (株)日本総合研究所 リサーチコンサルティング部門 プリンシパル 東博暢 氏</p> <p>演題: 地域を守る防災スタンダード案 講師: 東京海上日動火災保険(株) デジタルイノベーション部部长兼アライアンス推進室長 平山 寧 氏</p> <p><議事></p> <p>自立型広域経済圏モデル検討WG検討状況について 2021 年度事業報告と 2022 年度事業計画(案) について</p>
2021/7/6	第1回企画部会 (福岡市)	<p><議事></p> <p>九州将来ビジョン 2030 について 広域連携に関する検討 WG 立ち上げについて</p>
2021/12/21	第2回企画部会 (福岡市)	<p><議事></p> <p>自立型広域経済圏モデル検討WG検討状況について</p>
2022/3/1	第3回企画部会 (福岡市)	<p><議事></p> <p>自立型広域経済圏モデル検討WG検討状況および今後の方向性について 2021 年度事業報告と 2022 年度事業計画(案) について</p>

ダイバーシティ「幸せコミュニティ」推進委員会

開催日	会合名	内容
2022/03/18	委員会 (福岡市・Web 併用)	<議題> ・ 2021年度活動報告 ・ 2022年度事業計画(案)
2021/06/11	第1回企画部会 (福岡市・Web 併用)	<議題> ・ 九経連「九州将来ビジョン2030」の策定と事業計画見直しについて ・ 講演「ダイバーシティ推進がもたらす新たな価値の創出へジェンダーギャップ指数の考察を中心に～」 <講師>九州産業大学名誉教授 益村 真知子氏
2021/08/27	第2回企画部会 (福岡市・Web 併用)	第1回ジェンダーギャップ指数検討ワーキング併催 <議題> 企業版ジェンダーギャップ指数仕様案 <ご説明> (公財)九州経済調査協会
2021/11/09	第3回企画部会 (福岡市・Web 併用)	第2回ジェンダーギャップ指数検討ワーキング併催 <議題> 九州ジェンダーギャップ指数案の検討・指標作成について <ご説明> (公財)九州経済調査協会
2022/01/21	第4回企画部会 (Web)	第3回ジェンダーギャップ指数検討ワーキング併催 <議題> 九州企業ジェンダーギャップ指数の採用指標案の検討について <ご説明> (公財)九州経済調査協会
女性活躍推進		
2021/11/19	「KYUSHU NEXT」 開催 WG 第1回 WG (福岡市)	<議題> ・ これまでのテーマ ・ セミナー開催方法、基調講演の講師候補者 ・ KYUSHU NEXTその後の展開について ・ 各分科会の登壇者および、座長の選任
2021/12/24	「KYUSHU NEXT」 開催 WG 第2回 WG (福岡市)	<議題> ・ KYUSHU NEXT2021開催概要 ・ 各講師のプレゼンテーションコンテンツ案 ・ タイムテーブル及び運営方法について
2022/03/16	「KYUSHU NEXT」 開催 WG 第3回 WG (福岡市)	<議題> ・ KYUSHU NEXT2021総括 ・ 九州地域戦略会議夏季セミナーに向けた展開に関するご提案
2022/02/21	「KYUSHU NEXT」 ～われわれはどやうやって九州を動かしていくのか～」プレゼンテーション、グループディスカッション (Web 開催)	・ 「九州ジェンダーギャップ指数(KGGI)2021」の策定と結果について ・ グループセッション 【Session1】「女性活躍は『女性活躍推進法』ですすんだのか？」 プレゼンター：We-Nextの会 西部ガスホールディングス(株) 取締役常務執行役員 高山 健司 氏 九州産業大学 男女共同参画推進室 室長 佐々木 圭子 氏 テーマ座長：(株)博多ステーションビル 取締役事業推進部門長 吉留 泉子 氏 【Session2】「社会の協力によるフェアなビジネス環境」 プレゼンター：KIGURUMI. BIZ(株) 代表取締役 加納 ひろみ 氏 テーマ座長：(株)岩田屋三越 取締役執行役員総務・経営企画部長 和田 金也 氏 【Session3】「九州スマートリージョン構想(仮称)」～オープンデータによる自治体の枠を超えた地域連携～ プレゼンター：福岡地域戦略推進協議会 (Fukuoka D.C)事務局長 石丸 修平 氏 テーマ座長：嘉穂無線ホールディングス(株) 社長 柳瀬 隆志 氏 (株)フラウ 副社長 濱砂 圭子 氏
2022/01/24～02/04	女性活躍推進についてのアンケート調査	各会員企業の推進状況と経営者のお課題認識などについて把握し、当会の施策に繋げるべく実施

2022/03/17	福岡県大曲副知事と九経連倉富会長のトップ対談 (福岡市)	本会と福岡県女性活躍会議の両トップが、「女性活躍をはじめとする多様な人材の活躍」をキーワードに女性活躍が進まない要因やその解消、「ダイバーシティ・インクルージョン実現」に向けた企業経営の重要な視点に関して意見交換を実施。
外国人材関連事業		
2021/7～8	外国人留学生の採用状況アンケート調査	外国人留学生の採用の現状及び企業の考え、課題等を把握し、今後の取り組みに繋げることを目的に実施
2021/9/30	九州の企業のための留学生採用に向けた意見交換会 (福岡市)	<次第> 「九州大学留学生の現状、就職状況について」 九州大学 学務部キャリア・就学支援課長 木原 泰裕 氏 <意見交換会> 「留学生の心を掴むコミュニケーションについて」 オーレック(株) 代表取締役社長 今村 健二 氏 海外営業部 クマル グレムドラ 氏 「インターンシップ推進について」 福岡外国人雇用サービスセンター 外国人労働者専門官 中村 寛 氏 「採用企業情報のプラットフォーム化について」 JETRO 福岡貿易情報センター 高度外国人材活躍推進アドバイザー 石井 正光 氏
働き方改革・人材流動化		
2021/04～12	九州・山口 70 歳現役社会推進協議会との連携	・本協議会への参画及び広報協力の継続 ・シニア活躍も含めた「九州将来ビジョン 2030」に基づき「幸せコミュニティ指標」の具体的な検討を実施
2021/4/19	九州ジョブケーションモデル検討	九州財務局大津局長との打合せ ・中小企業の集め方検討 (九経連) ・パッケージ化検討 (JTB)
2021/5/12	ジョブケーション商品化検討	[出席者] ワークデザインラボ：石川氏・伊藤氏 パソナ：加藤氏 JTB：桂原氏・島添氏 九州財務局：大津局長・西川調整官 九経連：観光社会基盤部長 升本喜之ほか事務局

関門連携委員会

開催日	会合名	内容
2021/04/27	第1回委員会 (下関市)	<議題> ・2020年度活動結果 ・2021年度事業計画(案) <講演> 演題：「下関北九州道路を見据えた取り組みについて」 講師：下関市 都市整備部長 平澤 良輔 氏
2021/08/09	下関北九州道路整備促進大会 (大会中止)	※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
2021/08/18	下関北九州道路第1回中央要望 (オンライン)	<要望団体> ・ 下関北九州道路建設促進協議会 ・ 中国経連、九経連、関門連携委員会 ・ 下関北九州道路整備促進期成同盟会 ・ 下関北九州道路整備促進(山口県・福岡県・北九州市・下関市)各議会議員連盟等 <要望先> 国土交通省 国土交通大臣 赤羽 一嘉 氏
2021/08/26	下関北九州道路の早期実現に関する要望 (郵送)	<要望団体> ・ 下関北九州道路建設促進協議会 ・ 関門連携委員会 <要望先> 国土交通省、財務省、自由民主党、公明党等
2021/10/05	第2回委員会 (書面開催)	<議題> ・ 関門地域の活性化推進に関する要望(案)
2021/12/01	関門地域の活性化推進に関する要望活動 (東京都)	<要望団体> ・ 関門連携委員会 <要望先> 国土交通省、内閣府、財務省等

地域委員会

開催日	会合名	内容
熊本		
2021/10/06	第1回熊本地域委員会 (熊本市)	<p><講演> 「グッデイのデジタル経営への挑戦」 ㈱グッデイ 代表取締役社長 柳瀬 隆志 氏 <本部報告> 「九州将来ビジョン2030と事業計画」 <意見交換> 会長との意見交換</p>
宮崎		
2021/10/27	第1回宮崎地域委員会 (宮崎市)	<p><総会議事> ①2021年度宮崎地域委員会役員紹介 ②2020年度宮崎地域委員会活動実績報告 ③2021年度宮崎地域委員会事業計画説明 <本部報告> 「九州将来ビジョンと九経連のコロナ対応」 <講演> 「経営のデジタル化を考える」 宮崎大学 地域資源創生学部 教授 杉山 智行 氏 <意見交換> 会長との意見交換</p>
宮崎		
2022/03/17	宮崎地域委員会「女性 活躍推進セミナー」 (宮崎市)	<p><本部報告> 「九州ジェンダーギャップ指数の策定と2021年度 結果について」 <講演> 「チームの創造性を高めるには」 ㈱岩田屋三越 新規創造営業部長 曾根 ゆかり 氏</p>
大分		
2022/03/25	大分地域委員会「ダイバ ーシティセミナー」 (大分市)	<p><本部報告> 「九州ジェンダーギャップ指数の策定と2021年度 結果について」 <講演> 「西部ガスのダイバーシティ推進」 西部ガスホールディングス㈱ 人材戦略部 キャリア開発グループマネジャー 初村 清香 氏</p>

IV

関連団体活動

西日本経済協議会

開催日	会合名	内容
2021/4/6	第1回専務理事会 議 (大阪市)	<議題> ・ 2021年度の西経協事業の進め方 ・ 各経連2021年度の事業計画と重点取組事項 ・ 分科会の取り組みについて
2021/4/28	第1回担当者会議 (Web開催)	<議題> ・ 2021年度の西経協事業の進め方 ・ 分科会の取り組みについて(分科会の位置付け・運用方法、国土強靱化税制特別分科会(仮称)について) ・ 当面の予定と検討課題
2021/7/1	「国土強靱化税制」の整備・創設を支援する議員懇話会 (東京都)	<議事> ・ 「国土強靱化税制」のうち優先度の高いものからの実現に向けての要望について ・ 令和4年度税制改正要望や予算要求に向けての、事業施設の防災・減災投資の促進に資する施策の検討の方向性について
2021/7/14	第2回担当者会議 (福岡市)	<議題> ・ 2021年度 総会および要望活動について ・ 決議文作成に向けた考え方について(目標設定、文書の構成他) ・ 総会案内・当日に向けた準備について ・ 分科会との連携について(分科会発の要望への対応に関する考え方整理)
2021/9/8	幹事会 (福岡市)	<議題> ・ 第63回総会について ・ 要望活動について ・ 分科会の進捗確認について
2021/10/20	総会 (熊本市)	<議題> ・ 前年度活動報告 ・ 各地経済連合会からの発言 ・ 分科会活動報告 ・ 決議採択 <講演> 演題：着ぐるみ工場のダイバーシティ経営 ～あたたかいキャラクターと幸せコミュニティを生み続ける女子力の現場～ 講師：KIGURUMI.BIZ 株式会社 代表取締役 加納 ひろみ 氏
2021/11/17	要望活動 (東京都)	<要望先> 首相官邸、内閣府、財務省、経済産業省、国土交通省、デジタル庁、自由民主党本部
2021/11/17	第2回専務理事会 議 (東京都)	<議題> 分科会の今後の進め方について(意見交換) 関西万博に向けた交流人口の拡大について

九州航空宇宙開発推進協議会

開催日	会合名	内容
2021/05/26	第1回幹事会 (リモート)	<議題>(総会議事の事前審議) ・ 2020年度事業報告、決算報告 ・ 2021年度事業計画案、収支予算案、役員選任案
2021/07/21	総会 (福岡市, リモート併用)	<議題> ・ 2020年度事業報告、決算報告 ・ 2021年度事業計画案、収支予算案、役員選任案 <特別講演会> 「九州の技術を宇宙へ」社へ～地域企業と行う世界トップレベルの小型レーザ衛星開発の今と未来～ (株)QPS 研究所 社長 大西 俊輔 氏
2022/03/22	第2回幹事会 (リモート)	<活動状況報告、総括> ・ 九航協エアロスペース・ネットワーク(QAN) ・ 小型電動航空機研究会 ・ オール九州による宇宙開発促進に向けた既存射場の活用研究会 ・ 宇宙利用プロジェクト創出活動 ・ 第18回種子島ロケットコンテスト<協議> <九航協第3次企画委員会について> ・ 第3次企画委員会実施結果報告 ・ 第3次アクションプラン説明、審議
第3次企画委員会		
2021/8/31	第1回委員会 (リモート)	<議題> ① 各委員からの意見・討議 ② 第2回企画委員会に向けての確認事項
2021/10/21	第2回委員会 (リモート)	<議題> ① 初期タスクの各委員評価レビュー・確認 ・ 総括および第3次アクションアイテムに 向けてのレベル合わせ ② 第3回委員会の進め方 (第3次アクションプラン策定のために) ・ 航空分野・宇宙分野のグループ分けについて ・ 航空分野・宇宙分野のリーダー選任について ・ 各リーダーによる総括、第3次アクション アイテムの抽出・検討 ③ その他確認事項 ・ 第3次企画委員会規約について他
2021/12/8	第3回委員会 (福岡市, リモート併用)	<議題> ① 初期タスクの総括に関するレビュー・確認 ・ 第3次アクションアイテムに向けたレベル合わせ ② 今後の進め方 ・ 航空分野・宇宙分野のグループ分け、リーダー選任 ・ 各リーダーによる総括、 ・ 第3次アクションアイテム案の抽出・検討
2022/1/19	第4回委員会 (リモート)	<議題> ① 第3次アクションアイテムの抽出、絞り込み ・ 航空グループ ・ 宇宙グループ ② 今後の進め方 ・ 第3次アクションアイテムの決定

2022/2/22	第 5 回委員会 (リモート)	<議題> 第 3 次アクションプラン (案) 航空・宇宙 両グループ 今後の進め方第 3 次アクションプラン策定 ・九航協第 2 回幹事会に向けて その他 第 3 次アクションプラン・工程表の仕上げ ・2022 年度事業計画への織り込み
種子島ロケットコンテスト大会		
2022/03/7	第 18 回種子島 ロケットコンテスト (リモート)	<講演会> 「H-IIA/イプシロンロケットの追跡管制業務について」 JAXA 宇宙輸送技術部門 鹿児島宇宙センター射場 技術開発ユニット 研究開発員 高坂 政臣 氏 <プレゼンコンテスト> ・ロケット部門 / CanSat 部門 <ワークショップ> ・ロケット部門 / CanSat 部門
九航協エアロスペース・ネットワーク(QAN)活動		
2021/04/22	第 1 回全体会 議 (リモート)	<議題> ・2021 年度活動スケジュールについて ・エアロマート名古屋 2021 への出展について ・グループ別活動、各社の目標設定について
2021/06/25	第 2 回全体会 議(リモート)	<議題> ・事務局から報告、連絡事項 ・各社目標設定について、進捗状況報告 ・テーマ別グループ活動進捗状況報告 ・企業 PR プレゼン (株)中島ターレット <講話> ボーイングジャパン(株) インダストリアルソリューション プロジェクト担当 ディレクター 益田 直子 氏
2021/08/27	第 3 回全体会 議 (リモート)	<議題> ・企業 PR プレゼン 日本ファイテック(株)、(株)藤田ワークス ・事務局から報告、連絡事項 ・各社目標設定について、進捗状況報告 ・テーマ別グループ活動進捗状況報告
2021/10/12 ～14	エアロマート名古 屋 2021 への出 展(常滑市)	・ QAN メンバー社のうち、7 社が出展 ・事前調整した商談を会場内で行うほか、 海外企業とのオンライン商談も実施
2021/10/29	第 4 回全体会 議 (リモート)	<議題> ・事務局から報告、連絡事項 ・各社目標設定について、進捗状況報告 ・テーマ別グループ活動進捗状況報告 ・企業 PR プレゼン (株)リョーフ
2021/12/23	第 5 回全体会 議	<議題> ・事務局から報告、連絡事項 ・テーマ別グループ活動進捗状況報告出席者 <講演> 「オミクロン株がもたらす航空機業界への影響と最新動向」 三井物産(株) 九州支社 地域戦略室 次長 松野 亮一 氏 「航空宇宙分野における先進複合材技術の現状と将来」 名古屋大学ナショナルコンポジットセンター 特任教授 石川 隆司 氏
2022/1/12	神戸エアロネット ワークとの情報 交換会	<内容> ・KAN 事業会議の傍聴 ・クラスター相互の質疑応答、情報交換
2022/02/26	第 6 回全体会 議(リモート)	<議題> ・2020 年度活動報告と 2021 年度活動計画案の説明 ・2021 年度活動計画案についての協議 <講話> 「電動垂直離着陸機(evtol)の開発現状」 三井物産(株) 松野 亮一 氏 「小型電動航空機研究会活動の紹介」 久留米工業大学 特別教授 麻生 茂 氏
小型電動航空機研究会活動		
2021/4 ～ 2022/3	卒業論文研究 の一貫として実 施	・小型電動航空機の電動パワーユニットの研究 ・eVTOL 機の検討 ・マルチローター UAV の飛行性能の研究 ・レシプロ航空機の電動化に向けた研究 ・エアクラフ事業に適した水素エネルギー推進航空機の調査

2021/10/26	航空機電動化 コンソーシアム 第 5 回総会	<航空機電動化コンソーシアム 一般総会> ・一般会員としてオンラインで参加し、航空機電動化コン ソーシアムの活動報告について資料収集を実施。
2021/11/02	航空機電動化コ ンソーシアム第 4 回 オンラインフォー ム	一般会員としてオンラインで参加し、航空機電動化に向 けた活発な活動報告について資料収集を実施
2021/11/09、 12	2021 年度小型 電動航空機研究 会第 1 回会議	2021 年度に行うべき活動内容について議論
2021/12/2	日本航空宇宙学 会第 59 回飛行 機シンポジウム	研究発表 「空飛ぶクルマに向けた大型ドローンの概念検討」
2022/2/1	2021 年度小型 電動航空機研究 会第 2 回会議	小型電動航空機研究会活動の進捗報告を実施
九州宇宙利用プロジェクト創出研究会活動		
2021/07/31 ～ 2022/03/31	衛星データの農 作物生育管理 への利用実証 実験 (佐賀市)	佐賀県農業試験研究センターの実験大豆圃場において 分光反射率,NDVI 計測等実験実施: Sentinel- 2/MSI データ取得、ドローン搭載 NDVI カメラデータ取 得、相関分析→オレイン酸含有率が衛星データにより推定 可能であることを確認した。キャベツ及び小麦についてはデ ータ収集のため、2022 年度に検討予定
2021/04/01 ～2022/03/31	衛星データの農作 物生育管理への茶 葉品質予測利用 実証実験(大分県 豊後大野市)	大分県農林水産研究指導センターの茶圃場における分光 反射率,NDVI 計測等実験実施→茶葉摘採適期の推定 が Sentinel-2 で得られる萌芽日からの経過日数により可 能
2022/02/22	日本リモートセン シング学会九州 支部 2021 年 度研究発表(リ モート)	<研究発表> 「筑後川流域の農地分類」 半田大典氏, 森山雅雄氏(長崎大) 「バングラデシュ・テクナフ半島の森林消失地域の同定」 北原孝志郎氏, 森山雅雄氏(長崎大) 「クエア・ウィナム湾におけるアオコ・ホテイアオイの検知」 前田涼太郎氏, 森山雅雄氏(長崎大) 「Agricultural crop monitoring in north Syria using LANDSAT8 imagery」 Osama AKAK 氏, Masahiro Tasumi 氏 (U. Miyazaki) 奥村先生による研究発表
オール九州による宇宙開発促進に向けた射場活用研究会		
2021/05/12	第 7 回研究会 (リモート)	<議題> ① 要望書および要望書詳細について ② 要望書提出先・提出日等について ③ その他・スケジュール
2021/6/24 ～ 25	要望活動	<要望書内容> 要望 1. 内之浦宇宙空間観測所における「ロケットの打上げ促進」 1.1 打上げ促進に向けた「設備の更新、新設・拡張」 1.2 内之浦宇宙空間観測所の利用を支える「周辺環境の整備」 要望 2. 内之浦宇宙空間観測所の「民間利用の促進」 2.1 内之浦宇宙空間観測所の民間利用を促す「規程及び体制の整 備」 2.2 民間投資を促す「規制緩和」や「税制上の優遇措置」 要望 3. 内之浦宇宙空間観測所を活用した「次世代人材の育成」 3.1「次世代人材の育成に向けた活動」への支援 3.2 高度な教育環境を提供する「施設の整備」 要望 4. 本要望の実現に向けた協議への「国の参画」 本要望の実現に向けた協議における「国の関係省庁職員との参画」 <提出先> ・内閣府：内閣府特命担当大臣 井上 信治 氏 ・文科省/JAXA： 文部科学大臣 萩生田 光一 氏 ・経産省：副大臣 長坂 康正 氏 ・(株)IHI エアロスペース ・キヤノン電子(株)
2022/3/28	第 8 回研究会 (リモート)	<議題> ① 前回までの開催実績、国への要望書の提出について ② 要望書の内容について ③ 要望書提出後の活動状況 ④ 本研究会の今後の活動について

知的財産権研究会

開催日	会合名	内容
2021/04/16	第 375 回定例会 (福岡市)	<p><報告> 「e スポーツと知的財産権」 TMI 総合法律事務所 長島 匡克 氏</p> <p><報告> 「意匠（画像意匠を中心に）の実務的な課題について」 (株)ゼンリン 緒林 隆則 氏</p>
2021/05/21	第 376 回定例会 (福岡市)	<p><報告> 「著作権法における補償金制度」 佐賀大学 孫 友容 氏</p> <p><報告> 「特許権侵害差止等請求控訴事件「美容器事件」…おー凄い限界利益で損害額 4 億円弱に…」 加藤合同国際特許事務所 白垣 耕一郎 氏</p>
2021/06/18	第 377 回定例会 (福岡市)	<p><報告> 「標準必須特許ライセンスの透明化・公正（経済産業省「標準必須特許のライセンスを巡る取引環境の在り方に関する研究会」の論点）」 九州大学・平山法律事務所 平山 賢太郎 氏</p> <p><報告> 「特許権侵害訴訟において独占禁止法違反を理由とする権利濫用抗弁が認められた事例（東京地方裁判所令和 2 年 7 月 22 日判決（リコー対アイエスジャパン）の検討）」 九州大学・平山法律事務所 平山 賢太郎 氏</p>
2021/07/16	第 378 回定例会 (福岡市)	<p><報告> 「TRIPTRAP 判決 – 応用美術の著作物性 – について」 米山法律事務所 米山 功兼 氏</p> <p><報告> 「審査から見える特許管理」 九州大学 水野 治彦 氏</p>
2021/08/20	第 379 回定例会 (福岡市)	<p><報告> 「いわゆる『知的財産権の空白領域』について」 九州大学大学院 小島 立 氏</p> <p><報告> 「最近の企業の知財戦略の傾向について」 東京エレクトロン九州(株) 山崎 夏樹 氏</p>
2021/9/17	第 380 回定例会 (福岡市)	<p><報告> 「モータースポーツとレギュレーション」 九州大学大学院 安東 奈穂子 氏</p> <p><報告> 「商標権侵害訴訟事件事例報告」 隈・園法律事務所 園 真規 氏</p>
2021/10/15	第 381 回定例会 (福岡市)	<p><報告> 「コーポレートガバナンス・コードに追加された知財開示への対応」 特許業務法人 I P X 押谷 昌宗 氏</p> <p><報告> 「芸能人裏口入学記事事件（東京地判令和 2 年 12 月 21 日）」 西南学院大学 山田 憲一 氏</p>

2021/11/19	第 382 回定例会 (福岡市)	<p><報告> 「特許権侵害のリスクと取締役の第三者責任」 ～大阪地方裁判所令和 3 年 9 月 2 8 日判決の分析～ 青山法律事務所 青山 隆徳 氏</p> <p><報告> 「しんじょう君 対 ちいたん☆事件（東京地判令和元年 9 月 20 日、知財高決令和元年 12 月 25 日）」 関西学院大学 谷川 和幸 氏</p>
2021/12/17	第 383 回定例会 (福岡市)	<p><報告> 「『知財女子』としての知財業務と当社知財の紹介」 (株)西部技研 下茂野 香名江 氏</p> <p><報告> 「知的財産法とトークン」 西南学院大学 原 謙一 氏</p>
2022/01/21	第 384 回定例会 (福岡市)	<p><報告> 「商標政策の現状と最近の取組」 特許庁 鹿児島 直人 氏</p> <p><報告> 「IT ベンチャーの知的資産経営の実際 ～経営体験を交えて」 九州大学 藤岡 福資郎 氏</p>
2022/02/18	第 385 回定例会 (福岡市)	<p><報告> 「全社的に知財マインドを上げる ～ニュースレター配信の取り組み～」 (株)寿ホールディングス 田代 佑恵美 氏</p> <p><報告> 「知的財産権における人格権と流通チャネルの考察」 藤岡行政書士法務事務所 藤岡 希美 氏</p>
2022/03/18	第 386 回定例会 (福岡市)	<p><報告> 「特許権と育成者権 ～知的財産権の「重複領域」～（キリンソウを巡る育成者権事件も紹介） 2022.3.4 鳥取地裁で逆転無罪判決が出ました!」 (株)安川電機 石橋 一郎 氏</p> <p><報告> 「報奨制度と発明意欲 ～発明件数を増やすために何が出来るのか?～」 (株)三井ハイツック 山田 修大 氏</p>

九州 IR 推進協議会

開催日	会合名	内容
2021/04/12	第一回役員会	・会のキックオフ
2021/12/20	第二回役員会	・進捗報告
2021/12/20	九州 IR シンポジウム (福岡市)	<p><パネルディスカッション></p> <p>・テーマ:「九州 IR への期待」</p> <p>・パネリスト 九州経済連合会 名誉会長 麻生泰氏 九州観光推進機構 会長 唐池恒二氏 佐世保商工会議所 会頭 金子卓也氏</p> <p>・コーディネーター ながさき地域政策研究所 理事長 菊森淳文氏</p> <p><事業者挨拶・説明></p> <p>・カン・オストリア・インタショナル・ツァルによる事業計画の説明</p>
2022/01/14	九州・長崎 IR-MICE フォーラム (長崎市)	<p><基調講演></p> <p>・テーマ:「MICE 業界の展望と地域社会発展への関わり」</p> <p>・講師: Jason Yeh 氏</p> <p><パネルディスカッション></p> <p>・テーマ:「九州・長崎 IR-MICE を起点とした広域周遊観光、ビジネス創出、観光人材育成の未来像について」</p> <p>・パネリスト 日本政府観光局 MICE プロモーション部 調査役 佐野隆氏 九州観光推進機構 事業本部長 渡邊太志氏 九州経済連合会 観光社会基盤部 部長 升本喜之氏 九州通訳・翻訳者・ガイド協会 代表理事 水谷みずほ氏 長崎国際大学 人間社会学部 国際観光学科長 井上英也氏</p> <p>・コーディネーター 長崎県・佐世保市 IR 推進協議会 特別アドバイザー 嶋田和泉氏</p>
2022/01/14	九州・長崎 IR-MICE フォーラム (長崎市)	<p><基調講演></p> <p>・テーマ:「MICE 業界の展望と地域社会発展への関わり」</p> <p>・講師: Jason Yeh 氏</p> <p><パネルディスカッション></p> <p>・テーマ:「九州・長崎 IR-MICE を起点とした広域周遊観光、ビジネス創出、観光人材育成の未来像について」</p> <p>・パネリスト 日本政府観光局 MICE プロモーション部 調査役 佐野隆氏 九州観光推進機構 事業本部長 渡邊太志氏 九州経済連合会 観光社会基盤部 部長 升本喜之氏 九州通訳・翻訳者・ガイド協会 代表理事 水谷みずほ氏 長崎国際大学 人間社会学部 国際観光学科長 井上英也氏</p> <p>・コーディネーター 長崎県・佐世保市 IR 推進協議会 特別アドバイザー 嶋田和泉氏</p>

九州国際医療機構

開催日	会合名	内容
2021/04 ~ 2022/03	「WeChat」にて、九州国際医療機構・公式アカウント「KIMO 九州」の継続的な情報発信 (中国人へ情報発信)	<p><実施></p> <p>「九州国際医療機構」の情報発信。 ・医療情報 (九州・全国の医療・医療機関・医師情報) と観光情報を、年間 52 回配信 (毎週金曜日 PM7 時に記事掲載)</p>
2021/06/03	2020 年度幹事会 (オンライン開催)	<p><議題></p> <p>・2020 年度 活動報告・2020 年度 収支報告書 ・2021 年度 事業計画・2021 年度 収支計画案 ・ワーキング活動について ・「日中遠隔受信事業」の利用方法</p>
2021/06~ 2022/01	ワーキング 4 テーマ (医療機関の外国人患者受入について受入方針の優先順位の確認、現状の受入体制、企業機能の確認アンケート (2021/06、2021/07~08、2021/10~2022/01))	<p><実施></p> <p>・ワーキング 4 テーマ (医療機関連携推進WG・書類整備推進WG・広報活動推進WG・医療渡航推進WG) について 3 回に分けてアンケート実施 ・4 テーマの優先順位について ・テーマ毎の中で課題を抽出し、優先順位について ・在留・訪日患者、医療渡航患者に対する体制・方針について</p>
2021/07 ~ 2021/09	全体ワーキング	<p><実施></p> <p>【7/1】 ワーキングキックオフ ・ワーキングイメージ 具体的な課題 ・アンケート結果とリーダー・サブリダー 【9/7】 ワーキングの目録合わせ ・アンケート結果と 4 テーマの方向性 ・ステークホルダー整理</p>
2021/10~ 2022/02	テーマ毎ワーキング	<p><実施></p> <p>【10/18】 ・医療機関連携推進WGプラン ・追加アンケート依頼 ・書類整備推進WGプラン ・書類提出依頼 【2/1】 ・アンケート結果共有 企業機能の紹介 ・医療機関紹介スライド作成依頼 ・書類整備状況の報告 書類ライブラリの活用</p>
2022/03	九経連月報による医療機関の現状を寄稿、取材・発信	<p><取材・寄稿></p> <p>九州国際医療機構の理事・会員・協力医療機関にコロナ禍の取組みを寄稿 ・2022 年 3 月号: 福岡大学病院の取り組み 「福岡大学病院における新型コロナの対応と課題」</p>

九州の食輸出協議会

開催日	行事の名称等
2021/06/08	2021 年度総会
2021/08/25	第 1 回定例会及び第 1 回九州の食輸出オンライン商談会
2021/10/19	Japanese Foods Premium Trade Fair 参加
2021/10/21~11/05	イオンマレーシア 九州フェア開催
2021/11/02~11/21	イオンカンボジア 九州フェア開催
2021/11/17	九州北部信金協会 しんきん合同商談会参加
2022/01/18	第 2 回定例会及び第 2 回九州の食輸出オンライン商談会
2022/03/02~03/03	台北・台中バイヤーとのオンライン商談会
2022/03/17	イオン ASEAN 5 各国店舗とのオンライン商談会
2022/03/22	九州の食輸出推進チーム合同会議及び第 3 回九州の食輸出オンライン商談会 (賛助会員マッチング)

東九州軸推進機構

開催日	会合名	内容
2021/5/24	第1回幹事会 (書面開催)	<議題> ・第31回総会議案
2021/8/4	第31回総会	<議題> ・2020年度事業報告 ・2020年度収支決算報告 ・2021年度事業計画(案) ・2021年度収支予算(案) ・役員改選(案) ・東九州地域の活性化推進に関する要望(案) <講演> 出席者: 88名 演題: 「東九州自動車道 開通 5年後のストック効果」 講師: 西日本高速道路公社(株) 九州支社 副支社長 矢嶋 尚彦 氏 演題: 「高速道路を活用した地域創生プロジェクト」 講師: 西日本高速道路公社(株) 九州支社 地域連携担当部長 濱野 昌志 氏
2021/7/8	東九州自動車道建設 促進地方大会 (大会中止)	
2021/11/09	東九州自動車道建設 促進中央大会 (大会中止)	
2020/11/09	東九州自動車道建設 促進提言活動 (東京都)	<提言活動団体> ・東九州軸推進機構 ・東九州自動車道建設促進協議会 <提言先> 国土交通省、財務省、自由民主党

下関北九州道路建設促進協議会

開催日	会合名	内容
2021/05/13	第1回幹事会 (オンライン)	<議題> ・2020年度事業報告、収支決算報告 ・2021年度事業計画、収支予算(案) ・下関北九州道路早期実現に関する要望(案) <講演> 演題: 「下関北九州道路」について 講師: 国土交通省 九州地方整備局 道路部 道路計画第一課 課長補佐 中島 昇 氏
2021/08/09	下関北九州道路整備 促進大会 (大会中止)	
2021/08/09	2021年度総会 (書面開催)	<議題> ・2020年度事業報告 ・2020年度収支決算報告 ・2021年度事業計画(案) ・2021年度収支予算(案) ・下関北九州道路早期実現に関する要望(案)
2021/08/18	下関北九州道路第1回 中央要望 (オンライン)	※関門連携委員会の項目を参照
2021/08/26	下関北九州道路の早期 実現に関する要望 (郵送)	※関門連携委員会の項目を参照

九州経済国際化推進機構

開催日	会合名	内容
2021/04/26	2021年度 第1回幹事会 (福岡市)	<議題> ・2020年度事業報告、収支決算・監査報告 ・2021年度事業計画(案)、収支予算(案)
2021/05/28	2021年度総会 (書面開催)	<議題> ・2020年度事業報告、収支決算・監査報告 ・2021年度事業計画(案)、収支予算(案)
2021/10/07	2021年度 第2回幹事会 (オンライン形式)	<報告事項> ・2021年度事業の進捗・現状報告 ・2022年度事業に係るアンケート結果報告
アジア地域との経済・産業交流事業		
2021/05/27	シンガポール販路開拓 ウェビナー(オンライン開催)	※国際委員会の項目を参照
2021/10/21	ASEAN 展開実践ウェ ビナー(オンライン開催)	※国際委員会の項目を参照
2021/11/16	第19回環黄海経済・技 術交流会議(熊本市)	※国際委員会の項目を参照
2022/03/09	ASEAN 展開支援ウェ ビナー(オンライン開催)	※国際委員会の項目を参照
海外ビジネス・経済情報提供事業		
2021/10/21 ～2022/03/14	海外展開支援施策説 明会&無料相談会 (オンライン開催)	新型コロナウイルス感染症の影響を勘案し、全 4回をオンライン形式にて開催
海外販路開拓支援事業		
2021/05/21 ～2022/01/20	本格焼酎・泡盛輸出促 進ネットワーク会合 (オンライン開催)	蔵元の海外販路開拓に向けた取り組みを促進 するため、「本格焼酎・泡盛輸出促進ネットワ ーク」を発足し、オンライン定例会による会員間の 情報共有等を実施。

福岡地域戦略推進協議会

開催日	会合名	内容
2021/04/22	第1回幹事会 (福岡市)	・2021年度事務局体制(案)について
2021/04/22	総会 (福岡市)	・2020年度事業報告 ・2020年度会計収支決算書 ・2021年度事業計画 ・2021年度予算
2021/09/27	第2回幹事会 (オンライン開催)	・2021年度事業計画の進捗(案) ・2021年度予算進捗状況(案)
2021/12/01	会員交流会 (福岡市)	・産学連携によるスタートアップ取り組み事例報 告 ・会員相互交流(情報交換)
2021/12/22	第3回幹事会 (福岡市)	・新部会の設置に関する検討(案)について ・事務局体制について
2022/03/22	第4回幹事会 (福岡市)	・2022年度総会 開催方法について(案) ・2021年度事業報告(案) ・2021年度会計収支決算書(案) ・新部会の設置について(案) ・2022年度事業計画(案) ・2022年度予算(案)

九州大学学術研究都市推進協議会

開催日	会合名	内容
2021/05/14	第1回企画・情報会議 (福岡市)	<議題> ・ 2021年度第1回通常理事会議案書について ・ KGIに関する実績(2020年度)集約結果協議会構成団体等における取組状況・予定の集約結果について
2021/06/04	第2回企画・情報会議 (Web)	<議題> ・ 糸島サイエンス・ヴィレッジに関する情報提供
2020/07/15	第1回総会 (書面開催)	<議題> ・ 会長の選任(案)について
2021/07/26	第3回企画・情報会議 (Web)	<議題> ・ 2022年度予算編成に関する要望活動
2021/08/05	国への要望活動(東京都)	<要望書提出先> ・ 文部科学省、経済産業省、国土交通省
2021/08/31	第4回企画・情報会議 (Web)	<議題> ・ 糸島サイエンス・ヴィレッジに関する情報提供
2021/10/18	第5回企画・情報会議 (福岡市)	<議題> ・ 2022年度OPACK事業計画・予算について
2021/11/04	「九州大学学術研究都市」セミナー in 東京 2021(東京都)	<内容> ・ 関東地域を中心とした企業等を対象に、九大学研都市のまちづくりや大学等の研究活動を紹介するもの <講演次第> ・ 総合知で社会変革を牽引する大学へ(福田晋理 理事、副学長) ・ カーボンニュートラルの実現に向けた低環境負荷型物質変換システムの開拓(山内美穂教授) ・ プレシジョン医療時代におけるがん医療(宮脇恒太助教) ・ データ・AIをめぐる法的課題(成原慧准教授) ・ 農作物の環境適応から紐解く地球環境変動下における食料の安定生産(石橋勇志准教授) ・ 再エネと水素エネルギーの融合に向けて(林灯教授)
2022/01/25	第6回企画・情報会議 (Web)	<議題> ・ 2021年度OPACK第2回通常理事会議案
2022/02/07	九州大学学術研究都市フォーラム(福岡市)	<内容> ・ 福岡都市圏を中心とする地域企業等を対象に九大及び九大学研都市の理解促進と投資や人材交流の活性化を図るもの <講演次第> ・ 総合知で社会変革を牽引する大学へ(石橋達朗九州大学総長) ・ 新たな時代の成長エンジンとして九大に期待するもの(倉富純男九経連会長) ・ ICT行動変容に関わる学際共創研究拠点について(荒川豊九州大学教授)

ILC アジア-九州推進会議

開催日	会合名	内容
2021/06/21	先端加速器科学技術推進協議会 通常総会 (オンライン開催)	<報告> 2020年度事業報告の件 <議事> 第一号議案: 2020年度決算報告、監査報告 第二号議案: 2021年度事業計画 第三号議案: 2021年度予算 第四号議案: 2021年度役員選任

九州エネルギー問題懇話会

開催日	会合名	内容
2022/03/08	九州エネルギー問題懇話会常任幹事会 (福岡市)	<議題> ・ 2021年度事業報告・決算報告 ・ 2022年度事業計画・予算計画
2022/03/23	九州エネルギー問題懇話会委員会 (福岡市)	<議題> ・ 2021年度事業報告・決算報告 ・ 2022年度事業計画・予算計画
2021/06/18	第1回エネルギー講演会 (Web開催)	<講演> 演題: コロナ禍による世界・日本経済と激化するエネルギー資源獲得競争 講師: エコノミスト・BRICs 経済研究所代表 門倉 貴史 氏
2021/10/19	第2回エネルギー講演会 (福岡市) 日本原子力学会九州支部との共催	<講演1> 演題: 地球温暖化と異常気象 講師: 気象環境研究所主任研究員 気象予報士 村山 貢司 氏 <講演2> 演題: カーボンニュートラルと原子力の役割、展望と課題 講師: (一財)日本エネルギー経済研究所 原子力カテゴリーマネージャー 村上 朋子 氏
2022/01/27	第3回エネルギー講演会 (Web開催)	<講演> 演題: 地球温暖化をめぐる内外情勢と日本の課題 講師: 東京大学公共政策大学院 特任教授 有馬 純 氏
2021/11/26	会員企業見学会	<見学> ・ 九州電力(株)八丁原発電所
2021/08/06	九州教職員ネットワーク意見交換会 (Web開催)	<講演> 演題: エネルギー・環境問題の現状と課題 講師: 東京大学公共政策大学院 特任教授 有馬 純 氏 <オリエンテーション> テーマ: エネルギー・環境教育の意義・あり方 講師: 長崎大学教育学部教授 藤本 登 氏 <実践事例紹介> 発表: 広島県三次市立塩町中学校教諭 <グループ討議> テーマ: エネルギー・環境に関する授業の現状 ファシリテーター: 長崎大学教育学部 教授 藤本 登 氏 福岡教育大学教育学部 教授 坂本 憲明 氏 長崎大学教育学部 准教授 土肥 大次郎 氏
2021/06/08	第119回 エネルギー問題研究委員会 (Web開催)	<講演> 演題: ESG・サステナビリティに係る金融テーマと今後の企業経営に求められるもの 講師: (株)日本政策投資銀行 九州支店 業務課長 川崎 哲史 氏
2021/10/07~08	第120回 エネルギー問題研究委員会 (兵庫県)	<視察> 川崎重工業(株) 水素 CGS 活用スマートコミュニティ実証施設 他
2022/03/04	第121回 エネルギー問題研究委員会 (Web開催)	<講演> 演題: 第6次エネルギー基本計画について 講師: 資源エネルギー庁 長官官房総務課 需給政策室 総括係長 藤森 慎太郎 氏

九州・沖縄地方産業競争力協議会

開催日	会合名	内容
2022/01/19	令和3年度事務局打合せ (オンライン会議)	<議題> ・ 第10回協議会の振り返り ・ 実務担当会議_議題案について ・ 第11回九州・沖縄地方産業競争力協議会 日程及び議題案について

九州・沖縄文化力推進会議

開催日	会合名	内容
2021/07/28	令和3年度九州・沖縄文化力推進会議幹事会	<議題> 令和2年度事業報告及び決算報告、令和3年度事業計画及び予算、令和4年度事業計画、博物館等連携部会
2021/10/18 ～10/31	第50回世界体操競技選手権、第38回世界新体操選手権へのブース出展 (北九州市)	・ ミュージアム周遊バスのプロモーションを実施。 ・ 来場者に周遊バス及びノベルティを配布
-	発行物	ミュージアム周遊バス(20,000部)

九州DX推進コンソーシアム

開催日	会合名	内容
2021/11/30	設立総会	<議題> ・ 発起人4者(九経連、九州大学、福岡県、デロイト トーマツ グループ)による設立 ・
2021/11/30	プレスリリース (記者会見)	「九州DX推進コンソーシアム」の設立について ～ 地域における デジタル人材育成と産業創出を推進 ～
2021/11～ 2022/03	事務局会議	<議題> ・ 次年度事業計画策定等 ・ 経済産業省補助事業(R4年度)応募に向けた準備(地域企業向けDX導入支援コンサルティングWGを準備し、応募にあたり産学官金による九州DX推進コミュニティを形成)、ならびに応募申請

【記者会見】

2021/05/10	第 163 回理事会（福岡市）
2021/05/19	第 39 回九州地域戦略会議（WEB 会議、大分市・福岡市）
2021/08/03	第 6 回九州・大学発ベンチャー振興実践会議（福岡市）
2021/10/11	2023 G7 福岡誘致（福岡市）
2021/10/22	第 40 回九州地域戦略会議（別府市）
2021/09/29	理事・審議員合同会議（福岡市）
2021/11/30	「九州 DX 推進コンソーシアム」設立（福岡市）
2022/02/02	第 6 回九州・大学発ベンチャー振興会議（福岡市）
2022/03/09	第 72 回九州経済懇談会（福岡市）
2022/03/23	第 168 回理事会（福岡市）

【会長コメント発信】

2021/04/12	服部福岡県知事当選
2021/08/10	九州・長崎 IR 優先交渉者決定
2021/09/03	菅総理大臣退任表明
2021/10/14	台湾積体回路製造(TSMC)の熊本への新工場建設決定
2021/11/01	第 49 回衆議院議員総選挙
2021/11/02	小川前福岡県知事逝去
2022/02/02	新型コロナウイルス感染症への対応

【プレスリリース（資料提供）】

2021/04/05	第 72 回九州経済懇談会の開催
2021/04/06	九州 IR 推進協議会の発足
2021/04/14	第 72 回九州経済懇談会の開催中止
2021/05/10	第 163 回理事会の開催
2021/05/10	九州将来ビジョン 2030 の公表
2021/05/17	第 39 回九州地域戦略会議の開催
2021/05/24	第 61 回定時総会の縮小開催と 60 周年記念式典延期
2021/06/15	福岡県女性管理職ネットワーク「We-Net 福岡」との連携
2021/06/15	事業施設への防災・減災投資等に関するアンケート調査
2021/07/01	国土強靱化税制等の整備・創設に向けての要望
2021/07/13	下関北九州道路整備促進大会の開催

2021/07/26	JC九州地区協議会との連携協定締結式及び九州縦横断 FCV キャラバン出発式の開催
2021/07/29	第 6 回「九州・大学発ベンチャー振興実践会議」及び共同記者会見の開催
2021/07/29	農林水産省 宮内農林水産副大臣への要望書の手交
2021/08/01	農林水産省への要望書の手交中止
2021/09/24	理事・審議員合同会議の開催
2021/10/01	熊本地域委員会の開催
2021/10/15	九州の食輸出協議会 マレーシア、カンボジアでの九州フェアの開催
2021/10/20	西日本経済協議会の開催
2021/10/20	第 40 回九州地域戦略会議の開催
2021/10/22	宮崎地域委員会の開催
2021/11/01	「九州食堂」事業の実施
2021/11/15	「九州×ベルギー ハイレベルディナー」の開催
2021/11/15	西日本経済協議会による政府等への要望活動の実施
2021/11/18	「九州 DX 推進コンソーシアム」設立に関する記者会見の開催
2021/12/15	「九州 IR シンポジウム」の開催
2021/12/15	九州の食輸出協議会と㈱福岡ソノリクの連携による九州内共同物流サービス「つながる便」の開始
2022/01/07	「九州ジェンダーギャップ指数」の策定
2022/01/28	第 6 回九州・大学発ベンチャー振興会議及び共同記者会見の開催
2022/02/18	「農業の活性化に関する三者連携協定」の締結
2022/02/21	「うきは市地域活性化に関する三者連携協定」の締結
2022/02/22	第 72 回九州経済懇談会の開催

【要覧等】

2021/08	九経連要覧
2021/06/29 2021/12/20	MOU インフォメーションレター“Information Letter to Our MOU Partners” 発行・発送（6 月、12 月）

【調査・研究・報告】

毎月	月報「あすの九州・山口」
----	--------------

2021/04	<p>政府のエネルギー関連政策に関する要望</p> <p>1 電源の低炭素化・脱炭素化</p> <p>①再生可能エネルギー 海洋エネルギー（洋上風力発電、潮流発電・海流発電等）・地熱等の産業化支援</p> <p>②高効率石炭火力発電 水素・アンモニア混焼、CO₂回収・貯留技術（CCUS）など、世界トップレベルの高効率石炭火力発電の更なる低炭素化に向けた革新的技術開発の支援</p> <p>③原子力発電 長期運転、新增設・リプレースの推進、原子力分野の研究開発推進・人材育成</p> <p>2 需要の低炭素化・脱炭素化</p> <p>①電化：全部門（産業、運輸、民生部門）におけるエネルギー需要の電化とインセンティブ制度の拡充、「脱炭素電源を活用した電化先進モデル特区（仮称）」の創設</p> <p>②水素：安価かつ大量供給を可能とする水素グローバルサプライチェーンの構築、大型水素製造施設の整備促進、燃料電池自動車（バス・トラック・タクシー等）や水素ステーションの普及拡大、「高圧ガス保安法」など工場内水素利用に係る関係法令の規制緩和</p> <p>3 イノベーションの推進とレジリエンスの強化</p> <p>①産学官地域連携によるイノベーションの推進：九州大学を核とする産学官水素エネルギー研究開発拠点の形成、社会実装に向けた政策的支援（革新的エネルギー投資に関する減税措置や政府予算の拡充など）</p> <p>②レジリエンスの強化：頻発する自然災害に対する広域連携強化と地域における分散型電源システム促進支援</p> <p>4 ESG投資の環境整備</p> <p>①「2050年カーボンニュートラル」実現に向けて、ESG投資を呼び込むため、ESG地域金融の更なる普及・推進（政府系金融機関と地域金融機関等との協働等）</p> <p>②優れた環境技術・リサイクル技術を有する日本企業の世界への情報開示とマッチング機能の強化</p>
---------	---

2021/05	<p>コロナに打ち克つ！九州創生全力宣言(共同宣言) (九州地域戦略会議)</p> <p>ワクチン接種も本格化し、困難を克服する道筋が見え始めた今こそ、私たちのふるさとである九州・山口地域が、以前にも増して安心・安全で生き生きと暮らすことのできる、活気に満ちた魅力ある地域社会となるよう、「九州はひとつ」の思いを胸に一丸となって、新たな時代を切り拓いていくことを宣言する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ オール九州で新型コロナ感染拡大を阻止！ ○ 新たな時代を切り拓く九州創生の実現！
2021/06	<p>九州地域における宇宙開発促進に関する要望 (九州航空宇宙開発推進協議会)</p> <p>内之浦宇宙空間観測所の効果的な活用を進めることは、宇宙輸送システムの自立性の強化、次世代の宇宙人材育成など、宇宙基本計画の目標達成に導くものであり、また、九州地域ひいては我が国の宇宙開発促進に大きく寄与するものであることから、本要望の実現を強く求めるとともに、実現に向けた協議を国とともに進めていくことを要望</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 内之浦宇宙空間観測所における「ロケットの打上げ促進」 <ul style="list-style-type: none"> (1) 打上げ促進に向けた「設備の更新、新設・拡張」 (2) 内之浦宇宙空間観測所の利用を支える「周辺環境の整備」 2 内之浦宇宙空間観測所の「民間利用の促進」 <ul style="list-style-type: none"> (1) 内之浦宇宙空間観測所の民間利用を促す「規程及び体制の整備」 (2) 民間投資を促す「規制緩和」や「税制上の優遇措置」 3 内之浦宇宙空間観測所を活用した「次世代人材の育成」 <ul style="list-style-type: none"> (1) 「次世代人材の育成に向けた活動」への支援 (2) 高度な教育環境を提供する「施設の整備」 4 本要望の実現に向けた協議への「国の参画」
2021/08	<p>九州・山口地域における農林水産業の振興に関する要望</p> <p>新型コロナウイルス感染症影響下における農林水産業の支援策、農林水産物・食品の輸出促進を中心に、農林水産省等に対し、主に以下の項目を要望</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 (共通)新型コロナウイルス感染症影響下での事業継続支援 2 (農畜産業)農林水産物の輸出拡大、輸出相手国に対する検疫条件改善 3 (林業)森林整備予算の安定的な財源確保 4 (水産業)養殖業の産業競争力強化

2021/08	<p>東九州地域の活性化推進に関する要望(東九州軸推進機構)</p> <p>東九州自動車道をはじめとする高速交通体系の整備及び南海トラフ巨大地震への備えとして防災・減災、国土強靱化のための社会資本の整備などを求め、以下の項目を要望</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 循環型高速交通網の整備拡充 <ol style="list-style-type: none"> 1.1 東九州自動車道の整備促進 1.2 九州中央自動車道(九州横断自動車道延岡線)の整備促進 1.3 高速自動車国道に並行する一般国道の自動車専用道路の早期完成 1.4 地域高規格道路の整備促進 2 交流・連携に不可欠な社会資本の整備 <ol style="list-style-type: none"> 2.1 日豊本線の高速化促進 2.2 下関北九州道路の早期実現 2.3 東九州新幹線の整備計画路線への格上げ 2.4 北九州空港の機能拡充 2.5 港湾機能の強化 3 産業振興・地域活性化の促進 <ol style="list-style-type: none"> 3.1 地方拠点都市地域の整備促進 3.2 東九州地域における高度情報通信社会実現に向けた情報通信基盤の整備促進
2021/08	<p>九州・山口地域における交通基盤整備に関する要望</p> <p>災害対策の強化、農林水産物の輸出促進、観光産業の更なる活性化などに対して、社会インフラを最大限に活用すべく、以下の項目を要望</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 道路整備等について 2 鉄道整備等について 3 港湾整備等について 4 空港整備等について 5 沖縄における交通基盤整備について
2021/11	<p>未来を拓く強靱で活力溢れる地域の創生～行動する西日本から変革を～（西日本経済協議会）</p> <ol style="list-style-type: none"> I 喫緊の新型コロナウイルス感染対策の推進 <ol style="list-style-type: none"> 1 医療体制の強化と社会経済活動の回復 II 強靱で活力溢れる地域の創生に向けて <ol style="list-style-type: none"> 1 地方における新たな成長産業の創出 2 カーボンニュートラルの実現に向けた取組みの推進 3 地方創生の推進と分散・分権型国づくり 4 国土強靱化に向けた社会基盤整備

一般社団法人 九州経済連合会

事務局 〒810-0004

福岡市中央区渡辺通2丁目1番82号 電気ビル共創館6階

TEL 092-761-4261 (代表) FAX 092-724-2102

報告事項 2

2022 年度 事業計画 及び 収支予算

2022 年度 事業計画

I. はじめに	1
II. 主要事業の概要	3
III. 理事会・総会等の主要スケジュール	5
IV. 具体的取り組み	
1. 委員会	6
2. 九州地域戦略会議	12
3. 懇談会等	12
4. 事務局	13
(付1) 海外調査団・経済交流訪問団派遣等	14
(付2) 関連団体の活動	14

I はじめに

1 事業計画策定の基本的考え方

本会は昨年、創立 60 周年の節目に、「九州将来ビジョン 2030」を策定しました。

『共生・共感・共創アイランド九州 ～成長と心の豊かさをともに～』が、ビジョンのコンセプトです。九州にいれば自分の思いを実現できる、やってみようという雰囲気をつくる、九州をそんな場にすることが「心の豊かさ」につながり、結果として九州の持続的な「経済成長」にもつながると考えています。

2022 年度は、第 1 期中期計画（2021～2023 年度）の 2 年目として、戦略遂行への活動を一層強化し、具体的な成果に繋げていく重要な 1 年です。

中期計画に沿った 2022 年度事業方針をもとに取り組みを洗い出し、主な事業を整理しました。（P.3-4「主要事業の概要」）

その中でも九経連としては、会員の皆様をはじめ関係各所と連携して九州全体への展開を図り、ひいては「九州から日本を動かす」モデルにとなることが期待できる先導的な取り組みに注力していくこととします。

なお、2022 年 6 月の定時総会において、九州のありたい姿に相応しい「幸せコミュニティ指標」をご提示いたします。

<九州将来ビジョン 2030>

2030 年の九州のありたい姿に掲げる、

「Ⅰ. 成長エンジン」

「Ⅱ. 幸せコミュニティ」

「Ⅲ. 自立型広域連携アイランド」

の実現に向けて、原則として 3 年ごとに「中期計画」を策定して、3 ステップで取り組んでまいります。

<第 1 期中期計画（2021～2023 年度）>

基本方針「“九州から日本を動かす”新たな価値の創出」のもと、3 つの戦略によって活動の方向性と目標を明確にし、九州から改革・イノベーションのモデルを全国へ示すことができるよう活動してまいります。

<2022 年度事業方針>

最優先課題は、コロナ禍で大きな影響を受けている企業や地域の復興に資する取り組みです。→ **戦略 1「地域共創 with コロナ」**

そして、コロナ後の未来を切り拓くため、イノベーションの力で新たな成長を生み出すとともに、人を惹きつける地域産業の強み・魅力向上への取り組みを加速させていきます。多様な人材が集まることで、新しいアイデアが生まれ、経済成長を加速させる・・・

「成長と心の豊かさをともに」実現できる好循環モデルを、九州から発信していきます。

→ **戦略 2「ありたい姿実現に向けたチャレンジ」**

さらに、成果が出るまでに期間を要する基盤整備については、2030 年度の実現に向けた未来への投資として着実な取り組みを進めてまいります。

→ **戦略 3「みらいへの投資（基盤整備）」**

「九州将来ビジョン 2030」が目指す
ありたい姿



2 「九州から日本を動かす」モデルづくり

<2022年度「九州から日本を動かす」モデルづくり事業>

戦略	中期テーマ	「九州から日本を動かす」モデルづくり	(ビジョンとの関係)	
1 地域共創 With コロナ	コロナ対応	(地域経済V字回復、 ヒト・モノの交流活性化に最優先で取り組む)		
2 ありたい姿 実現に向けた チャレンジ	産業	産業 イノベーション	★イノベーション・エコシステム構築 スタートアップへの成長支援、地域企業 DX 支援 スマート化に取り組む地域の拡大	A C D
		グリーン 成長	★需要側を含めた環境先進モデル構築 ESG金融推進、企業の環境経営推進	B
		アジア 活力	★新たな観光資源創出への挑戦 ツール・ド・九州、九州・長崎 IR	A E
	地域	人を 惹きつける	★農林水産業活性化共創モデルづくりへの挑戦 ★観光を軸にした地域プロデュース	A E
	共助社会	★心の豊かさを成長につなぐ「幸せコミュニティ」づくり	E	
3 みらいへの投資 (基盤整備)	分散型 広域連携	★「九州スマートリージョン構想(仮称)」の具現化 データ連携基盤の構築、広域経済圏モデル検討 ★九州版 MaaS 構築と地域交通の最適化		

<将来ビジョンと中期テーマのつながり>

【ビジョン実現に向けた 10 の課題】

1. 日本を動かす
リーディング産業の育成・誘致
2. カーボンニュートラルを
先導するエネルギー環境の整備
3. 生産性向上を生み出す
九州イノベーションエコシステムの構築
4. 地理的優位性を活かした
アジアとのシームレス化
5. 新たな時代の人材育成
6. 暮らしやすさ (Quality of Life) と
新たな価値の創出
7. 共助社会を実現するダイバーシティ・
インクルージョンコミュニティ形成
8. 「成長エンジン」と「幸せコミュニティ」
を支えるインフラ整備
9. 分散型社会の一翼を担う
自立型広域経済圏モデルの構築
10. 安心安全を確保する
防災レジリエンス・バックアップ機能強化

共生と共感によって、成長と心の豊かさが相互に好影響を与え合い、
新たな価値を共創する持続可能な地域を目指します。



(矢印が示す関係性)

- [A] 成長エンジンとして九州の経済を活性化し、暮らしやすさなど地域の魅力を高め、多様な人々が集まり活躍することでさらなる地域経済の活性化につなげる好循環を創り出す
- [B] ゼロエミッションエネルギーの環境を整備することで持続的な産業の成長や幸せな暮らしを支える
- [C] リーディング産業の育成・誘致と、新たな技術やイノベーションが生まれるエコシステムの好循環を創り出す
- [D] リーディング産業から生まれたスマートシティなどの新たな技術を活かし QOL 向上につなげる
- [E] ダイバーシティ・インクルージョンコミュニティ形成により、多様な人々が活躍することで産業の活性化に繋げる

II 主要事業の概要

2021年度 活動状況



【戦略1】地域共創withコロナ

①コロナ対応	地域経済 V字回復	<ul style="list-style-type: none"> ・ 接種証明等を活用した「九経連会員向け行動指針」公表（9月） ・ 地元食品等販促フェア出店（10月）
--------	--------------	--

【戦略2】ありたい姿実現に向けたチャレンジ

高い付加価値を生み出す「産業」の創出	②産業 イノベーション	イノベーション 価値共創	<p><大企業とスタートアップとの接点拡大></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 大学シーズへのギャップ資金投入（5,280万円） <p><地域企業のDX加速></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 経営層向け「九州デジタル経営塾」開講（7月）と、4地域での実施 ・ 全国初の産学官金による「九州DX推進コンソーシアム」設立（11月） <p><農業を変える></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 企業農業参入セミナー開催（11月）
		戦略産業 の育成・誘致	<ul style="list-style-type: none"> ・ 九州航空宇宙開発推進協議会・30周年ビジョン /第3次アクションプラン策定
		国際金融機能 の誘致	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域金融機関向け「国際金融勉強会」の実施（4回）
	③グリーン成長	環境経営 (ESG金融)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域金融機関等の参画による「ESG推進ワーキング」立上げ（9月）と、九州のサステナビリティ向上への重要課題の整理
		再エネ 産業拠点化	<ul style="list-style-type: none"> ・ JC九州地区協議会との「水素利用促進協定」締結（7月）と、九州縦横断FCV（燃料電池車）キャラバン実施
	④アジア活力	交流人口 の拡大	<p><ツール・ド・九州> 事業者公募、テクニカルガイド作成</p> <p><九州・長崎IR> IR事業者と地元事業者とのマッチング、計画書作成</p>
海外展開 プラットフォーム		<ul style="list-style-type: none"> ・ 「九州プロモーションセンターinハノイ」利活用イベント実施 	
魅力「地域」の創造 活力・活力溢れる	⑤人を惹きつける	農林水産業 魅力づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・ 農業従事者不足を地域企業で支えるスキーム案作成（6月）と、農林中金・JA全農ふくれんと三者協定締結（2月） ・ 「木造ビル標準モデル」普及促進研修会 ・ 輸出Web商談会（イカノマレーシア/成約29件、イカノマ*アジア/33件）
		観光・まちづくり	<ul style="list-style-type: none"> ・ 福岡県うきは市でのワーケーション実証/観光庁補助事業（12月）と、うきは市・まちづくりNPOとの地域活性化協定締結（2月）
	⑥共助社会	ダイバーシティ・ インクルージョン (幸せコミュニティ)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 幸せコミュニティ指標の策定に向けたWG組成 ・ 地域単位でのジェンダーギャップ指数の見える化・公表（1月）

【戦略3】みらいへの投資（基盤整備）

⑦分散型 広域連携	データ駆動型 社会の基盤整備	<ul style="list-style-type: none"> ・ デジタル技術活用による広域連携の新たな社会システム構築に向け、自立型広域経済圏モデル検討WGを組成（8月）
	インフラ ネットワーク	<p><MaaS></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 佐賀県基山町での高速バス貨客混載実証/経産省補助事業（1月） <p><広域交通・物流ネットワーク></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「新幹線を活かす地域づくり」シンポジウム開催（12月）

★「九州から日本を動かす」モデルづくり事業

【最重点事業 K P I】

【戦略1】地域共創withコロナ

- 最優先課題：経済活動の根幹である人・モノの交流活性化
(「コロナ禍での九経連行動指針」に類するメッセージや、国・自治体への要請を機動的に発信)

【戦略2】ありたい姿実現に向けたチャレンジ

★ イノベーション・エコシステム構築

- ① スタートアップへの成長支援：大学シーズへのギャップ資金投入 【ギャップ資金7,200万円】
各地の支援機関・コーディネーターの連携強化策の策定
- ② 地域企業へのDX支援：経営者向け「九州デジタル経営塾」開催（4カ所）
デジタル化・IT活用支援の仕組みづくり※ 【支援モデル事業の実施】
※地域の金融機関やITベンダーのプラットフォーム
- 農業への企業参入やスマート化推進
- 次世代産業への構造転換策の策定、実施
- 九航協・第3次アクションプランの実行：参入支援、受注獲得
- 都市機能の充実や高度化を目指す構想の実現
(国際金融機能の九州全域への波及、政府スーパーシティ構想指定への活動等)

★ 需要側を含めた環境先進モデル構築

【九州タクソミー（仮称）策定】

- ① 九州ESG投融资方針の策定と、推進体制づくり（地域金融機関等との連携）
- ② 地域企業の脱炭素経営推進の具体策とりまとめ（新たな研究会設置）
- 再エネ産業化推進：プロジェクト誘致に向けた展示会出展等

★ 新たな観光資源創出への挑戦

⇒ 目標：九州・長崎IRの区域認定 ※全国で最大3カ所

- ① ツール・ド・九州：2023年第1回大会成功に向けた業務遂行
- ② 九州・長崎IR：区域認定に向けた九州IR推進協議会による活動 【区域認定/10月】
- 各国政府・経済団体との連携促進 ⇒ 目標：貿易総額5.8兆円 ※九州-RCEP参加国
・「九州プロモーションセンター」起点の海外展開事例創出：ミッション派遣、現地商談会

★ 農林水産業活性化共創モデルづくりへの挑戦

⇒ 目標：九州輸出額1,600億円

- ① 支援基盤づくり：外部知見を活用した生産者支援事業の推進 【支援プラットフォーム整備】
「地域農業を地域企業で支える仕組み」基点の取組推進 【具体事例創出】
- ② 支援基盤の強化：木造ビルトップセールス、「九州の食輸出協議会」等との協働（輸出促進）

★ 観光を軸にした地域プロデュース

- ・「街づくり事業」の遂行と成功事例の水平展開 【地方活性化連携協定(3地域)締結】
- ・対象地域に応じたアクションプランの実行

★ 心の豊かさを成長につなぐ「幸せコミュニティ」づくり

- ・ 幸せコミュニティ指標の策定と、指標向上へのロードマップ作成 【指標の見極め・関係者合意】
- ・ 地域企業への「九州企業ジェンダーギャップ指数」導入推進 【ギャップ指数導入企業300社】
- ・ 指標向上への活動サイクルの定着

【戦略3】みらいへの投資（基盤整備）

★ 「九州スマートリージョン構想（仮称）」の具現化

- ① 広域データ連携：構想実現への理念・方針の策定 【九州スマートリージョンポリシー 策定】
広域データ連携基盤の仕組みづくり 【パイロットプロジェクト立案】
県境・分野を越えたデータ活用事例の共有（域内の官民データ拡充）
- ② 広域経済圏モデル（新たな広域行政）の課題・方向性整理 【目指す広域連携の姿の具体化】
- ICT人材育成、サイバーセキュリティ対策・啓発（継続実施）

★ 九州版MaaS構築と地域交通の最適化

- ① 九州版MaaS：最適な手法を検討するための研究会の設置 【グランドデザイン策定】
- ② 地域交通の最適化：自治体と事業者とのマッチング支援、課題解決の事例創出
- 西九州新幹線/効果最大化への検証、空港活性化策の検討、関門連携施策の確立等
- ・ 対象地域に応じたアクションプランの実行

Ⅲ 理事会・総会等の主要スケジュール

2022年

5月	理事会（9日、福岡市） 九州地域戦略会議（31～6月1日、宮崎県）
6月	定時総会、理事会、創立60周年記念式典（7日、福岡市） ※2021年6月開催予定からの延期
8月	九州地域戦略会議・夏季セミナー（4～5日、沖縄県） 沖縄連携フォーラム（5日、那覇市）
9月	理事会、理事・審議員合同会議、新入会員交流会（20日、福岡市）
10月	西日本経済協議会 総会（17日、島根県松江市） 及び要望活動（11月9日、東京） 九州地域戦略会議（26～27日、鹿児島県）
12月	顧問会

2023年

2月	正副会長・委員長会議（福岡市）
3月	九州経済懇談会（経団連との意見交換会）（3日、福岡市） 理事会（22日、福岡市）

IV 具体的取り組み

1 委員会

※下線部：ビジョン実現への最重点事業

(1) 資源エネルギー・環境委員会（事務局：産業振興部）

持続可能な世界屈指のクリーンエネルギー九州を実現するため、九経連の5つのエネルギー戦略をもとに、再生可能エネルギーの有効活用やそれに資する資金調達などの体制を整備し、需要側を含めた環境先進モデルを構築して経済成長に寄与する。

- ① **ESG 投資・グリーン購入の拡大に向けた環境整備**
 - ・ 地域金融機関等との連携による「九州 ESG 投融資方針」の策定、及び ESG 金融アライアンスの組成に向けた「地域金融機関連携プラットフォーム創設」に関する提言の実施
【KPI】九州タクソノミー（仮称）の策定
- ② **脱炭素社会の実現に向けた環境整備**
 - ・ 九州における環境エネルギー関連産業の集積強化に向けた、域内外の先進事例の調査
 - ・ 新たな研究会を設置し、地域企業の脱炭素経営推進の具体的方策の取りまとめ
- ③ **再生可能エネルギーの産業化推進**
 - ・ 九州地域戦略会議「再生可能エネルギー産業化アクションプラン（地熱、海洋、水素）」の官民一体での推進

(2) 産業振興・デジタル推進委員会（事務局：産業振興部）

「九州将来ビジョン」の実現に向け、新たな時代のデータ活用型社会の先進モデルを創出するとともに、産学官連携によるイノベーションおよび人材育成への取り組みを通じて、九州における持続的な産業育成・振興ならびに地域課題解決を目指す。

- ① **九州ベンチャー・エコシステムの構築**
 - ・ スタートアップ・エコシステム拠点都市（福岡市・北九州市）のチームメンバーとして、官民連携によるスタートアップ企業の創出・成長支援
 - ・ 大学発ベンチャー育成（大学シーズに対するギャップ資金投入）、企業×ベンチャー協業型ビジネスマッチング等の支援
【KPI】ギャップ資金提供 7,200 万円（2021 年度 5,280 万円）
 - ・ 九州各地の支援機関が個々に取り組む支援策を、より効果的に進めるための連携のあり方についての協議による、支援機関・コーディネーターの連携強化策の策定
 - ・ オープンイノベーションマッチングの実施
（StartupGo!Go!、九州・山口ベンチャーマーケット、Fukuoka Growth Nextとの連携）
- ② **地域企業へのDX支援**
 - ・ 地域金融機関やITベンダーとのプラットフォーム構築による、中堅・中小企業のデジタル化・IT活用を支援（コンサル）する仕組みづくり（九州DX推進コンソーシアムとの協働）
【KPI】支援モデル事業の実施
 - ・ 経営者向け「九州デジタル経営塾」開催（九州内4カ所：長崎、佐賀、熊本、北九州）

③ 「スマートリージョン構想（仮称）」の具体化（行財政委員会との協働）

- ・ スマートシティを基礎自治体ごとに目指すのではなく、全体最適を図るための広域データ連携基盤の仕組みづくりについて、他地域での先進事例を含めた調査・検討と具体的な課題解決提案の実施（九州DX推進コンソーシアムとの協働）

【KPI】パイロットプロジェクトの企画・立案（2023年度実施へ）

- ・ 県境・分野を越えたデータ利活用の動機づけとして、九州地域戦略会議「九州ビッグデータ活用研究会」によるオープンデータ活用事例の共有 等

④ データ活用型社会に向けた基盤整備

- ・ 産学連携による産業振興に資するICT人材育成事業（学生向け実践インターンシップ、社会人向けセキュリティ人材育成事業・データ利活用人材育成事業への参画）の実施
- ・ サプライチェーンに対するサイバーセキュリティ意識の向上並びにセキュリティ対策の普及・啓発の実施（サイバーセキュリティセミナーや技術者勉強会等）

⑤ 産学官連携による課題解決型先進モデル創出

- ・ 「産学連携懇談会」を通じた産学官連携先進モデルの発信・共有・展開

【KPI】先進モデル創出・展開3件

⑥ デジタル化・自動化による生産性・付加価値向上

- ・ 先進事例をもとに、中小企業の実産性向上や高付加価値化への取り組み支援（デジタルものづくり、サプライチェーンの見える化、デジタル経営など）
- ・ ものづくり産業から他産業、及び九州全域の実産性・付加価値向上を支援・展開

⑦ 次世代リーディング産業の育成・誘致・振興

- ・ 次世代産業（半導体・洋上風力・水素等）への構造転換方策の策定と、取り組み開始（地域企業参入促進、ものづくりの強み x グリーン成長・環境エネルギー産業の集積、電化・電動化の推進、技術・産業間のシナジー最大化、事業再構築補助金の最大活用）

⑧ 航空・宇宙産業の育成・振興

- ・ 九州航空宇宙開発推進協議会（22年4月に30周年）第3次アクションプランの策定・展開

(3) 観光委員会（事務局：観光社会基盤部）

以下の基本方針を基に、九経連ならでの観光事業を展開する。

1. 観光を軸にした地域活性化に資する事業展開
2. 状況変化に対応出来る柔軟性・弾力性のある事業展開
3. 社会基盤をはじめとする横断的な事業展開

2022目標：観光消費額 -（第二期九州観光戦略の観光指標を見直し中）

九州・長崎IRの区域認定の取得（全国で最大3カ所）

① 地域活性化のための「ツール・ド・九州 2023」「ディスカバー九州」の開催

- ・ 2023年第1回大会の実施・成功に向けて九経連としての役割を果たす

② 九州・長崎IRの誘致実現

- ・ 2022年秋、区域認定に向けたKIRC（九州IR推進協議会）活動

③ 観光を軸にした地域プロデュース

- ・ 特定の複数自治体との連携による「街づくり事業」の遂行と成功事例の水平展開
* 交通委員会「地域交通の最適化」事業とのクロスファンクショナル

【KPI】3地域との地方活性化連携協定 締結

(4) 農林水産委員会（事務局：農林水産部）

アジアを中心とした農林水産物・食品の輸出促進、地産地消を力強く後押しする基盤の整備、スマート技術を活用した労働負荷低減や生産性向上に資する伴走支援などにより、魅力ある九州の「農林水産業活性化共創モデル」づくりに挑戦する。

2022 目標：九州の港等からの一次産品・食品輸出額 1,600 億円
(2021 年 1,223 億円)

① 支援基盤づくり

- ・ スタートアップや会員企業の外部知見やリソースを活用し、貨客混載を活用した地産地消推進など生産者支援を後押しする運営体制の構築

【KPI】 支援プラットフォームの整備

- ・ 農業関連団体との協働による担い手不足解消など「地域農業を地域企業で支える仕組み」を基点にした取り組みの推進
- ・ 経団連との共催による域外企業の九州への農業参入促進セミナー開催・マッチング事業、九州各県と連携したスマート農林水産業の先進事例紹介セミナー開催・マッチング事業の積み上げ

【KPI】 連携協定の活用、具体事例の創出

【KPI】 マッチング事例の創出

② 支援基盤の強化

- ・ 「九経連木造ビル構造標準モデル」の改善、これを活用した「木造・木質化のメリット」浸透に軸足を置いた企業トップセールスの推進

【KPI】 木造・木質化ビル採用事例の創出

- ・ 「九州の食輸出協議会」を活用した輸出事例拡大に向けた地元食品等産業の伴走支援、ビジネスパートナーと連携した「中国国際輸入博覧会」出展による地域産品のプレゼンス向上、JETRO のネットワークを活用した中国向け高付加価値木材販売支援、「九州沖縄経済圏スマートフードチェーンプロジェクト」（農研機構）への協力など、関係機関との協働による輸出促進に資する取り組みの強化

【KPI】 海外販路拡大支援 20 件

(5) 交通委員会（事務局：観光社会基盤部）

九州の一体的な発展を目指すため、「アジアに近い九州」という強みを活かし、観光・産業振興、アジアのゲートウェイとしての空港・港湾機能の向上、循環型高速交通網及び地域公共交通網の整備等を推進する。

① 九州版 MaaS 構築

- ・ 九州全体にとっての最適、かつ共有可能な MaaS プラットフォーム（システム・概念）の確立と、その「九州版 MaaS」構築に向けた最適な手法を検討するための研究会の設置

【KPI】 九州版 MaaS のグランドデザイン（全体構想）策定

② 地域交通の最適化

- ・ 地域にとっての最適なモビリティシステムの構築を目指した地域交通に関する自治体と事業者のマッチング支援活動、及び地域交通課題解決の事例創出

* 観光委員会「観光を軸にした地域プロデュース」事業とのクロスファンクショナル

【KPI】 2 地域との包括連携推進 MOU 締結

③ 九州域内空港の活性化

- ・ 空港活性化の検討及び情報交換の場となる懇談会の設置
- ・ 福岡空港の容量拡大に向けた支援・要望活動

④ 西九州新幹線の効果最大化への検証

- ・ 2022年9月に開業を控える西九州新幹線（長崎駅～武雄温泉駅間）整備効果の最大化への検証

⑤ 高規格道路網の整備・促進

- ・ 東九州自動車道、下関北九州道路整備促進に向けた効果的な大会・要望活動
- ・ 九州域内道路網に関する効果的な要望活動

⑥ 域内交通基盤の着実な整備

- ・ 交通課題の的確な把握と早期解決に向けた効果的な要望活動

(7) 国際委員会（事務局：国際部）

九州がアジア等海外諸国の成長とともに発展するため、海外政府機関・海外経済団体との間で締結した MOU（11 か国・地域）等を活用し、九州の中小企業等の海外ビジネス展開の実現に向けた環境整備や対日投資の誘致、諸外国とのネットワーク強化を図る。

2022 目標：九州と RCEP 参加国との貿易総額（輸出・輸入合計）5.8 兆円

※2019 年水準の回復

① 九州企業の海外ビジネス展開の支援

- ・ 九州とベトナム間の経済交流や観光促進、人材交流に係る情報の発信拠点としてベトナム・ハノイ市に設立した九州プロモーションセンター（K.P.C.）のグランドオープン（2023年1月予定）にあわせた経済交流ミッション派遣、及び同時に現地での商談会の開催
- ・ 農林水産委員会や官公庁等と連携し、中国をはじめとしたアジア諸国における九州の食の販路開拓事業の実施

② アジア各国・地域と締結した MOU 等を活用した経済交流の拡大

- ・ 環黄海経済・技術交流会議（2022年11月予定、韓国・釜山広域市）を通じた、関係地域との交流の深化
- ・ タイ投資委員会（BOI）との MOU に基づく経済交流ミッション派遣（2023年3月予定）を通じた、九州企業のビジネス拡大支援
- ・ ベトナム、タイをはじめとする ASEAN 諸国を対象に、会員の関心が高い国やテーマに関するセミナーの実施
- ・ 中華民国工商協進会（CNAIC）との MOU を活用した、ツール・ド・九州への台湾からの参加誘致

③ 国際金融機能の誘致（TEAM FUKUOKA）

- ・ MOU ネットワーク、国際部所管の会議体等を活用した活動周知および支援

(8) 行財政委員会（事務局：地域政策部）

域内企業の競争力強化と地域経済活性化を図るため、スマートシティモデル構築の推進や地方創生に向けた提言活動を実施するとともに、行財政に関わる諸課題に取り組む。

- ① **分散型広域連携の促進（「九州スマートリージョン構想（仮称）」の具現化）**
 - ・ 人口減・税収減でも安心・安全・便利な社会を維持するための、地域全体での広域連携の新たなモデル構築に向けて、これまでの検討成果や知見の蓄積を踏まえた、構想実現を可能とするための理念・方針の策定と、九州地域戦略会議への提案に向けた関係者間の合意形成 【KPI】九州スマートリージョンポリシーの策定・合意
 - ・ 道州制に代わる新たな広域行政の全体構想作成に向けた事例調査等による課題の洗い出しと九州の方向性の整理 【KPI】目指す広域連携の姿の具体化
- ② **広域データ連携の実現に向けた DX の推進（産業振興・デジタル推進委員会との協働）**
 - ・ デジタル技術活用による、官民一体となった広域連携による住民サービスや社会経済活動のあり方（モデル）の検討と、その実現に向けた「九州 DX 推進コンソーシアム」等と連携した取り組みの推進
- ③ **都市機能の充実や高度化を目指す構想の実現に向けた検討**
 - ・ 国際金融機能の誘致に向けた「TEAM FUKUOKA」との協働を通じた、ビジネス環境や生活環境の向上および九州全域への波及に資する活動の実施
 - ・ 政府や国際的なガイドラインに沿った各自治体のスマートシティ実装に向けた支援
 - ・ 政府スーパーシティ構想指定に向けた、福岡地域戦略推進協議会と連携した活動の実施（FUKUOKA Smart EAST 構想）

(9) ダイバーシティ「幸せコミュニティ」推進委員会（事務局：地域政策部）

九州企業の DE&I（ダイバーシティ、エクイティ&インクルージョン）への取り組みを可視化、全体の底上げを図ることにより、選ばれる九州を実現する。

- ① **幸せコミュニティ指標の開発とロードマップ作成**
 - ・ 幸福度指標の調査・研究による“九州のありたい姿”に相応しい指標の策定 【KPI】指標の見極め・関係者合意（2022年6月公表予定）
 - ・ 幸福度向上に向けた課題の洗い出しとロードマップ作成
- ② **女性活躍のための具体的取り組みとオール九州での風土醸成**
 - 【KPI】九州企業ジェンダーギャップ指数導入企業 300 社
 - ・ 各県活動体連携によるネットワーク創出と女性活躍推進風土の醸成
 - ・ 九州地域戦略会議夏季セミナーを通じた 2021 年度「KYUSHU NEXT」議論内容の拡大、産官学のオール九州での取り組みへの昇華
 - ・ 国・自治体連携による待機児童問題の課題抽出
- ③ **働き方・雇用の多様性の推進**
 - ・ 地方創生の人材面における課題解決と働き方改革の推進に向けた取り組み
 - ・ コロナ禍での「新しい日常」で変化した働き方の継続推進
 - ・ シニア活躍拡大のためのプラットフォームづくり
- ④ **外国人が活躍できる意識醸成と仕組みづくり**
 - ・ 域内産官学と連携した留学生の域内就職者数増加に向けた支援（域内企業の理解促進イベント開催）
 - ・ 外国人就労者の域内活躍促進に向けた支援

⑤ 男女の出会いの場創出事業

- ・ 九経連会員企業に対する「Aill（専用マッチングアプリ）」導入推進

【KPI】 Aill 導入企業数 50 社

(10) 関門連携委員会（事務局：観光社会基盤部）

九州と本州の連携を強化し、関門地域の一体的発展を図るため、地域振興における発展戦略について調査・検討を進めるとともに、下関北九州道路の早期実現に向けた整備促進大会や要望活動を行う(中国経済連合会との合同委員会につき、同連合会との連携による)。

① 関門連携による地域活性化

- ・ 2021 年度に実施した「関門地域の活性化に向けた基礎調査」を基に、関門地域活性化策の確立に向けた活動

【KPI】 関門連携施策の確立

② 関門地域内の交通基盤整備

- ・ 「下関北九州道路建設促進協議会」(事務局:九経連)などと連携し、下関北九州道路の早期実現に向けた要望活動を実施するとともに、関連する調査検討の実施

【KPI】 環境アセスメントの進捗

(11) 各地域委員会（事務局：地域政策部）

各地域の産業経済に関する諸問題を調査研究し、意見を取りまとめ、九経連全体としての活動に反映することにより、その解決、実現を図ることを目的として、地域に根差した魅力ある九経連活動を展開する。

① 地域に根差した活動強化

【KPI】 上期中の各地域での「九州将来ビジョン」に関する意見交換

- ・ 九経連全体の地域課題解決プロジェクトとの協働・連携事業
- ・ 講演会、視察会等による調査研究、会員意見交換会を通じ、DX（デジタルトランスフォーメーション）やGX（グリーントランスフォーメーション）をはじめとした各地域固有の課題の抽出と九経連活動への反映
- ・ 会員相互の交流・連携の促進

2 九州地域戦略会議

(1) 九州地域戦略会議

第41回：2022年 5月31日～6月1日／宮崎県
第42回：2022年 10月26日～27日／鹿児島県

- 官民一体となった九州独自の発展戦略の研究や具体的施策を推進する。
 - ・メンバー：九州地方知事会（各県知事）、九経連会長および会長が指名する者、九州商工会議所連合会会長および会長の指名する副会長、九州経済同友会代表委員、九州経営者協会会長
 - ・テーマ：「新型コロナウイルス感染症への対応と九州創生」・「第2期九州創生アクションプラン（JEWELS+）」（しごとづくり、新技術挑戦、人材活躍、次世代育成、地域活力づくり、安心・安全等）のフォローアップとグリーン社会の実現、「ツール・ド・九州」、「九州・長崎 IR」の進捗報告等実施

(2) 第19回夏季セミナー（2022年8月4日～5日／沖縄県）

- 産官学のトップリーダーが一堂に会し、九州の発展に向けた共同体意識を醸成し、様々な課題について討議・提言を行う。
 - ・メンバー：九州地方知事会（各県知事以下三役等）、域内大学学長、各県議会議長、経済4団体の会員企業など
 - ・分科会：全4分科会の一つを九経連で担当し、2022年3月開催の「KYUSHU NEXT」での議論内容を、官民全体の動き（協力とフェアがつくる持続可能な九州）へ発展させる。

3 懇談会等

(1) 沖縄連携フォーラム（2022年8月5日／那覇市）

- 沖縄県経済団体会議との共催により、九州・沖縄の連携と両地域の相互理解、共通課題について意見交換、検討を行うとともに、解決を図る。

(2) 九州経済懇談会（2023年3月3日／福岡市）

- 日本経済団体連合会（経団連）との共催により、わが国ならびに九州地域が当面する課題について、意見交換する。

(3) 産学連携懇談会（2022年4月22日／福岡市）

- 九州の発展戦略や産学連携に関する諸課題について意見交換する。
【主要テーマ】「知」の拠点強化、共同研究・オープンイノベーション、課題解決型プロジェクト、地方創生、産業活性化、グローバル化、九州に求められる人材育成・確保 等

(4) 九州経済を考える懇談会

- 九州の経済団体※の長が、九州経済の現状と重要課題について共有するとともに、課題の解決に向けた方向性について議論する（年2回程度）。

※九州の経済団体：九州経済連合会、九州オープンイノベーションセンター、九州商工会議所連合会、九州経済同友会、九州経営者協会、九州経済調査協会

4 事務局

(1) 全体的な取り組み

- ① コロナ禍を乗り越え、地域経済のV字回復と持続的な成長軌道へ戻すことを確実に成し遂げるため、2021年度に示したコロナ禍での九経連行動指針に類するメッセージを感染状況に応じて都度発信するとともに、会員・各地域の声を集め、国・自治体へ要請を行うなど、経済活動の根幹であるヒト・モノの交流活性化に最優先で取り組む。
- ② 「九州将来ビジョン」で掲げた「2030年のありたい姿」の実現に向けた活動を推進するとともに、新たな価値創出や幸せコミュニティ形成を九州全体での活動につなげていくための浸透活動も推進する。
- ③ WEBを活用した会議・セミナーや情報提供等、デジタル技術を積極的に活用することで、事業運営の高度化・効率化を推進する。

(2) 会員サービス

- ① 事務局のデジタル化を推進し、タイムリーな情報発信を行うとともに、各種案内をはじめ会員との相互連絡を円滑にする。
- ② セミナーや懇談会など会員同士の交流機会を創出し、相互理解と一体感を醸成する。
- ③ 九経連「九州女性の会」（会員企業の女性経営者および女性管理職が参加）の活動を支援する。
- ④ 九経連の取り組みに関するアンケート等を適宜実施し、会員の声を事業計画（中期、単年度）などに反映し、実行に移していく。
- ⑤ コロナ禍における会員間の新たな交流機会の創出に向けて、「九経連スマイルプロジェクト（本会HPにて会員企業の取組内容を紹介）」を刷新し、より活用しやすい仕組みを構築する。

(3) 広報

- ① 報道機関に対して、定期的、かつタイムリーな情報提供を行うなどPR強化を図る。
- ② ホームページやメール等により、活動実績や予定等をスピーディに提供することで発信力を強化し、本会活動への参画者増につなげる。
- ③ 月報「あすの九州・山口」に寄稿や特集頁を増やして内容の充実を図り、会員にとって役立つ情報誌とする。

(4) 調査・研究等

- ① 国内他地域ブロックや域内各県等の取り組み状況を把握し、県域を越えた連携や官民連携などの可能性を探る。

(5) その他

- ① 地域の課題解決に貢献できる高い政策立案能力を持った人材育成に関する九州大学の取り組みに協力する。（地域政策デザインスクール実行委員会）

(付 1) 海外調査団・経済交流訪問団派遣等

(1) 九州・ベトナム経済交流ミッション派遣、 及び KPC グランドオープン記念イベント開催

- ・趣 旨： KPC グランドオープンセレモニーへの参加を契機とし、同国へ訪問する機会を捉え、ベトナム国関係政府機関（外務省、計画投資省など）を表敬訪問し、ベトナムと九州間の一層の関係強化を図る。
また、オープン記念イベントとして、食をテーマにした商談会を実施し、九州域内企業のビジネス拡大を図る。
- ・時 期： 2023 年 1 月（予定）
- ・派 遣 先： ベトナム・ハノイ（予定）
- ・団 員： 九経連会長、九州経済産業局長、九州・山口・沖縄各自治体首長等ほか、20 名程度
- ・主 催： 九州経済国際化推進機構（事務局：九経連、九州経済産業局）

(2) 九州・タイ経済交流ミッション派遣

- ・趣 旨： タイ王国は日本国同様、高齢化の進行が喫緊の課題となりつつある。高齢化対策となる事業は、社会問題の解決という SDG s の観点にも沿うことから、その意義は大きい。
2021 年 8 月に、日泰間でヘルスケア分野における MOU 締結の動きもあり、同分野での新たな経済交流も期待できることから、ヘルスケアを中心とした経済交流ミッション派遣を行うもの。
また、ミッション派遣の際は、タイ経済投資委員会（BOI）との MOU を活かしつつ、タイ王国内関係政府機関との新たな交流も目指すこととする。
- ・時 期： 2023 年 3 月（予定）
- ・派 遣 先： タイ・バンコク（予定）
- ・団 員： 九経連会長、九州経済産業局長ほか、会員企業を中心に 30 名程度
- ・主 催： 九州経済国際化推進機構（事務局：九経連、九州経済産業局）

(付 2) 関連団体の活動

(1) 西日本経済協議会（幹事：中国経済連合会）

〔 総 会：2022年10月17日／島根県松江市
要望活動：2022年11月 9日／東京 〕

- 北陸、中部以西の 6 つの経済連合会[※]が連携して、西日本地域の共通の課題解決に向けた取り組みを展開するとともに、国等に要望する。

※6つの経済連合会：北陸経済連合会、(一社)中部経済連合会、(公社)関西経済連合会、(一社)中国経済連合会、四国経済連合会、(一社)九州経済連合会

(2) 九州・沖縄地方産業競争力協議会

(会 長：九州経済連合会 会長、

事務局：九州地方知事会、九州経済産業局、九経連 経営管理室)

(2022年7月/福岡市)

- 第 11 回協議会(2022 年 7 月開催予定)では、前回策定した「九州・沖縄地方成長産業戦略～九州・沖縄 Earth 戦略Ⅱ～※」(目標年度 2025 年度)について、2022 年度以降のアクションプランやプロジェクトの進捗等について議論を行う。

※九州・沖縄が今後重点的に推進すべき事項と方向性を示す成長戦略の第2ステージとして、これまでの戦略4分野(①クリーン、②医療・ヘルスケア・コスメティック、③農林水産業・食品、④観光)の取組を継続し、プロジェクトを再設定するとともに、SDGs、先端技術、働き方改革、アフターコロナの視点を踏まえた横断的取り組みを推進する。

(3) 福岡地域戦略推進協議会 (会長：九州経済連合会 会長)

- 福岡地域戦略推進協議会(Fukuoka D.C.)の活動※に経済界として参画し、意見出しや支援を行う。

※福岡の地域経済をグローバル化し、活力を維持強化していくため、福岡都市圏を中心とした産学官民が一体となった公共的な場(プラットフォーム)において、地域の成長戦略の策定から実施までを一貫して行う。

(4) 下関北九州道路建設促進協議会

(会長：九州経済連合会 会長、事務局：九経連 観光社会基盤部)

- 関門地域の一体化と交流拡大、地域経済の活性化に寄与するため、下関北九州道路の早期実現を目指し、以下の活動を実施する。
 - ① 下関北九州道路の必要性や重要性を広くアピールし、早期実現に向けた機運を一層高めるため、関門連携委員会(九経連、中国経済連合会)、下関北九州道路整備促進期成同盟会などと連携して、整備促進大会を実施
 - ② 環境影響評価や都市計画決定の手続きへの移行に向け、国による調査検討を迅速かつ着実に進めてもらうべく、関門連携委員会、下関北九州道路整備促進期成同盟会などと連携して、要望活動を実施
 - ③ 事業化のための課題と対応策について、下関北九州道路整備促進期成同盟会などの関係機関と意見交換

(5) 東九州軸推進機構

(会長：九州経済連合会 会長、事務局：九経連 観光社会基盤部)

- 東九州地域の産業・経済をはじめとする地域社会の活性化を図るため、高規格幹線道路による循環型高速交通ネットワークの整備等を目指し、以下の活動などを実施する。
 - ① 東九州自動車道の全線開通等の早期実現のため、東九州自動車道建設促進協議会と連携して、東九州自動車道建設促進地方大会および中央大会、提言活動を実施
 - ② 東九州自動車道「清武南～日南北郷間」および「志布志～鹿屋串良間」、「一般国道220号 日南・志布志道路」および「一般国道220号 油津・夏井道路」の早期完成、加えて「南郷～奈留間」の早期事業化とともにすべての暫定二車線区間の四車線化、ならびに東九州地域の産業経済の活性化に資する社会資本整備の促進に関する要望
 - ③ 東九州地域における交通インフラの整備促進に係る事業(特別事業)に対する支援・協力

(6) 九州航空宇宙開発推進協議会

(会長：九州経済連合会 会長、事務局：九経連 産業振興部)

- 九州地域の航空機産業の育成・拡大と宇宙産業の創出を図るため、産学官が一体となって技術レベルの向上や受注獲得のためのアプローチ支援等を行う。
- 設立 30 周年を迎え策定した第 3 次アクションプラン（2022 年 4 月）に基づき、今後取り組むべき事業・研究テーマについて展開する。

<航空宇宙産業の振興>

- ① 航空機部品等の多工程一貫生産を可能とする航空機部品クラスターを形成・増強し、参入支援ならびに販路拡大を支援
- ② 小型電動航空機の研究開発促進、事業化を見据えた検討

<宇宙技術の地域振興への活用>

- ① 衛星データ活用による地域課題解決(一次産業の生産性向上、被災状況の把握等)を促進する産学官プロジェクトの推進
- ② 内之浦射場等の九州域内施設を活用した宇宙技術開発、試験製造、打ち上げ、利用ビジネスのフィールド構築のための環境整備に向けた研究活動、国・関係団体への要望活動
- ③ 九州経済産業局との共催による、九州宇宙戦略推進会議セミナーの開催

<人材の育成>

- ① 若手人材育成を目的とした種子島ロケットコンテストの開催

(7) 九州経済国際化推進機構

(会長：九州経済連合会 会長、事務局：九経連 国際部、九州経済産業局)

- 九州の国際化・グローバル化に向け、九州経済産業局、九州各県、企業などとの連携を図り、国際会議や海外との交流事業を実施する。
 - ① 環黄海経済・技術交流会議や日本(九州)・韓国経済交流会議などアジア各国・地域との交流事業の実施
 - ② タイ投資委員会 (BOI) との間で締結しているMOUに基づき、タイに経済交流ミッションを派遣
 - ③ ベトナム計画投資省 (MPI) との間で締結しているMOUに基づき、ベトナムに経済交流ミッションを派遣。現地商談会の実施
 - ④ フィリピン、ベトナム、タイなどアジア各国・地域とのMOUに基づくセミナーや交流事業の実施
 - ⑤ 日EU EPA発行を踏まえ、輸出のポテンシャルを有する九州産本格焼酎等の認知度向上と販路拡大のため設立した「本格焼酎・泡盛輸出促進ネットワーク」を活用し、セミナーや意見交換会、商談会、Kura Master本格焼酎・泡盛部門現地授賞式等を開催
 - ⑥ 九経連と中国・山東省商務庁との会議や日本産牛肉の中国への輸出再開等の動きを契機に、中国主要都市における販路開拓事業を実施
 - ⑦ JICA やジェットロなど支援機関と連携した海外展開支援施策に関する説明会や域内の起業マインドを醸成するためのセミナー等を実施
 - ⑧ 九州の投資・ビジネス環境情報をホームページ等で発信
 - ⑨ グローバル人材活用支援事業の実施

(8) 九州大学学術研究都市推進協議会

(会長：九州経済連合会 会長、事務局：九州大学学術研究都市推進機構)

- 九州大学学術研究都市構想の総仕上げに向けて産学官民がより一層連携し、新たなフェーズを迎える学術研究都市づくりを推進する。
 - ① 知の交流・創造活動によるイノベーション・エコシステムの構築
 - ② 快適で質の高いライフスタイルを実現する環境整備
 - ③ 世界・アジアとの交流（ネットワーク構築）
 - ④ 九州大学学術研究都市のシティプロモーション

(9) ILC アジア－九州推進会議

(代表：九州経済連合会 会長、事務局：九経連 地域政策部)

- 九州での国際リニアコライダー（ILC）※計画の実現を目指し、行政・大学等との連携を図る。

※ 国際リニアコライダー(International Linear Collider)：

全長約30～50kmの地下トンネルに直線加速器を設置し、電子と陽電子をほぼ光速まで加速して衝突させることでビックバン(宇宙のはじまり)直後の状態を再現する大規模研究施設。ヒッグス粒子の性質解明や未知の粒子の発見、宇宙誕生の謎の解明につながると期待される。アジア、北米、欧州が協力し、世界に一か所建設を目指す国際プロジェクト。

(10) 九州 IR 推進協議会

(会長：九州経済連合会 会長、事務局：九経連 観光社会基盤部、長崎県)

- 「オール九州」「官民連携」の要素を盛り込んだ、九州・長崎 IR 区域整備計画を作成し、その実現につなげる。

① ビジネスマッチング WG

- ビジネスマッチングの具体化

[九経連、九州経済団体、地元金融機関] × IR 事業者の対話

② 九州観光周遊 WG

- 広域周遊観光コンテンツ開発、IR 内観光ショーケースの作り込み等

[九経連、九州観光推進機構、九州経済団体、長崎県、佐世保市、その他]

× IR 事業者の対話

(11) 九州の食輸出協議会

(会長：弓場秋信・弓場貿易(株)社長、事務局：九経連 農林水産部)

- 九州の生産者・食品製造業者等と九州に拠点を置く商社との連携や海外需要開拓に向けた協働を後押しし、九州の農林水産物および食品等の輸出拡大を目指す。

① 海外への販路拡大

② 生産者等と地域商社との円滑な情報共有のためのプラットフォーム整備

③ 生産者等に対する輸出相談窓口

④ 生産者等に対する地域商社の紹介および地域商社に対する生産者等の紹介

⑤ 対象国への輸出拡大を目的とした国内外の展示会への出展

⑥ 会員間の連携や会員と生産者等との連携による新商品開発・輸送・販売等の共同事業

(12) 九州国際医療機構

(代表理事：赤司浩一・九州大学病院長、事務局：九経連 観光社会基盤部)

- 健康保険制度の望ましい運用の下、医療分野の国際交流を推進することで、九州および日本の人々ならびに訪日外国人および在留外国人の健康・福祉の向上や、医療水準の向上ならびに経済発展に貢献する。

(13) 知的財産権研究会 (事務局：九経連 産業振興部)

- 九州の産学官が一体となって知的財産権法をはじめとする様々な経済法の現状と課題について検討するため、毎月 1 回研究会を開催する。

(14) 九州DX推進コンソーシアム

(共同代表：九州経済連合会 会長、九州大学 総長

事務局：九経連 産業振興部、デロイトトーマツグループ)

- 域内の自治体や企業、大学等、産学官金の関係者が一体となって、地域におけるデジタル人材の育成や、デジタル技術の活用による地域課題の解決と新たな産業の創造を推進し、持続可能な地域社会と経済発展の実現を目指す。

(15) 九州・沖縄文化力推進会議 (事務局：福岡県、九経連 地域政策部)

- 九州・沖縄・山口各地域における文化活動の推進と文化の発信による地域活性化に官民が連携して文化プログラムを実施する。特に、今後開催される大規模国際スポーツイベント等を見据え、国内外から訪れる観光客に対し、新型コロナウイルスへの対応も鑑みながら、九州・沖縄・山口の各種文化をPRしていくとともにエリア内の周遊を促す。

- ① 各大規模国際スポーツイベントと連携した九州・沖縄・山口の各種文化の魅力発信
- ② 文化施設への誘客およびエリア内周遊促進に向けた「ミュージアム周遊パス」の作成・活用
- ③ 各県が連携した伝統文化の情報発信や小中学校の修学旅行等における各県文化施設の活用促進

報告事項 2 - 2

2022年度 収支予算

2022年4月1日から2023年3月31日まで

(単位:円)

科 目	2022年度 予算額 (A)	2021年度 予算額 (B)	増 減 (A)-(B)	備 考
I. 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
基本財産収入				
特定資産運用収入				
特定資産運用収入	290,000	250,000	40,000	
入会金収入				
入会金収入	1,500,000	1,500,000	0	新入会目標30社
会費収入				
会費収入	296,100,000	287,300,000	8,800,000	入退会差引後
雑収入				
受取利息収入	10,000	10,000	0	
その他収入	1,350,000	1,350,000	0	
事業活動収入計 (A)	299,250,000	290,410,000	8,840,000	
2. 事業活動支出				
事業費支出				
給料手当支出	96,400,000	88,900,000	7,500,000	採用1名、定期昇給による増
総会役員会費支出	6,300,000	6,400,000	△ 100,000	
会員懇談会費支出	4,300,000	9,300,000	△ 5,000,000	西経協九州開催終了による減
委員会費支出	47,400,000	44,500,000	2,900,000	上海国際輸入博出展等による増
調査費支出	4,000,000	10,440,000	△ 6,440,000	ツール・ド・九州事業を特別事業費へ
刊行費支出	10,000,000	11,650,000	△ 1,650,000	会員名簿発刊終了による減
旅費交通費支出	8,900,000	10,500,000	△ 1,600,000	Web活用による出張費の減
通信費支出	2,200,000	2,500,000	△ 300,000	郵送からメールシフトによる減
図書資料費支出	500,000	500,000	0	
加盟団体費支出	2,500,000	2,560,000	△ 60,000	
特別事業費支出	8,000,000	2,100,000	5,900,000	ツール・ド・九州事業による増
研修費支出	600,000	600,000	0	
交際費支出	600,000	600,000	0	
印刷費支出	3,000,000	3,500,000	△ 500,000	ペーパーレス化による減
消耗品費支出	800,000	1,000,000	△ 200,000	
諸税支出	300,000	300,000	0	
雑支出	200,000	300,000	△ 100,000	
事業費支出計 (B)	196,000,000	195,650,000	350,000	
管理費支出				
役員報酬支出	22,100,000	22,015,000	85,000	
福利厚生費支出	22,000,000	22,000,000	0	
家賃支出	35,900,000	35,855,000	45,000	
備品費支出	9,100,000	8,000,000	1,100,000	機器リース更新等による増
修繕費支出	1,600,000	1,090,000	510,000	機器保守契約による増
管理費支出計 (C)	90,700,000	88,960,000	1,740,000	
事業活動支出計 (D)=(B)+(C)	286,700,000	284,610,000	2,090,000	
事業活動収支差額 (E)=(A)-(D)	12,550,000	5,800,000	6,750,000	

(単位:円)

科 目	2022年度 予算額 (A)	2021年度 予算額 (A)	増 減 (A)-(B)	備 考
Ⅱ. 投資活動収支の部				
1. 投資活動収入				
特定資産取崩収入				
周年事業引当預金取崩収入	4,000,000	4,000,000	0	周年事業繰り延べ開催
投資活動収入計 (F)	4,000,000	4,000,000	0	
2. 投資活動支出				
特定資産取得支出				
運営準備引当預金取得支出	0	0	0	
退職給付引当預金取得支出	9,800,000	9,000,000	800,000	充分分積み増し
減価償却引当預金取得支出	900,000	800,000	100,000	充分分積み増し
什器備品取得支出	0	0	0	
投資活動支出計 (G)	10,700,000	9,800,000	900,000	
投資活動収支差額 (H)=(F)-(G)	△ 6,700,000	△ 5,800,000	△ 900,000	
Ⅲ. 財務活動収支の部				
1. 財務活動収入				
借入金収入	—	—	—	
財務活動収入計	—	—	—	
2. 財務活動支出				
借入金返済支出	—	—	—	
財務活動支出計	—	—	—	
財務活動収支差額	—	—	—	
Ⅳ. 予備費支出				
予備費支出 (I)	5,850,000	0	5,850,000	
当期収支差額 (J)=(E)+(H)-(I)	0	0	0	
前期繰越収支差額 (K)	104,683,548	149,373,313	△ 44,689,765	
次期繰越収支差額 (L)=(J)+(K)	104,683,548	149,373,313	△ 44,689,765	

